

第2節 陶磁器類・土師器の出土状況・分布について

はじめに 万瀬遺跡の平成26年度・令和元年度調査では、図化掲載したものの以外にも多くの古代以降の遺物が出土しており、木製品・金属製品を除いても729点を数える。本節ではそれらの集計を行い、器種ごとの多寡や産地、帰属時期の状況や、グリッド別の出土点数分布などを示すものである。なお、器種名や型式・窯式名などは節末の参考文献に依る。

集計結果 表18にカテゴリ、産地等、器種別での点数および重量を示した。

山茶碗 山茶碗では渥美・湖西型、尾張型、東濃型の3種が確認でき、渥美・湖西型が点数・重量の両面で優位である。

古瀬戸・瀬戸美濃 古代以降の遺物の6割近くを施釉陶器が占め、うち9割以上を古瀬戸および大窯期以降の瀬戸美濃製品が占める。器種別に見ると、古瀬戸では平碗、大窯期以降では丸碗、天目茶碗、播鉢が目立ち、次いで尾呂茶碗、腰鎗茶碗・湯呑、志野丸皿、片口鉢などが出土数の多い器種として挙げられる。一方で、古瀬戸では緑釉小皿、大窯期以降では鉄絵鉢や灯明皿・灯明具などの器種が欠ける。

磁器製品 産地の特定できないものが多かったが、肥前産磁器が瀬戸美濃産の半数弱出土している。器種では碗類、特に端反碗が多く、次いで皿類も見られる。

土師器 圧倒的に鍋の破片が多いが、形状や時期を特定できるものは少ない。鍋以外では土人形、かわらけなどが次いで多い。

**時期別
点数** 表19～22に時期別の点数を示した。縦軸が器種、横軸が時期となり、該当する時期の該当器種が何点出土しているかを示している。複数期にまたがるものは帰属時期がその間で特定できていないものの点数を示す。なお、器種不明、時期不明は省いた。

山茶碗 (表19) 碗では、尾張型は4・5型式が主体であり、渥美・湖西型および東濃型は尾張型5・7型式併行期のものが主体となる。小碗・小皿でもその様相は同様で、尾張型のは4型式までしか見られず、時期の下るものは渥美・湖西型である。数量の面では、尾張型4型式併行期から数を増し、6・7型式併行期ごろにピークが見られ、9型式併行期以降は確実なものがない。

古瀬戸 (表20) 確実なもののみ見ると、中期様式IV期に遡ると見られる筒型香炉が1点出土するが、その他は全て後期様式のものである。また、後期III期に比定されるものはなく、後期I～II期、後期IV期の2時期に分かれる。

瀬戸美濃 (表22、図126) 数量が多いため点数の集計とグラフ化を行った。点数の集計は3種の方法によるものを示した。Aは時期が段階まで絞り込めているもののみを集計したもので、Bは更に小期まで絞り込めているもののみを集計した。参考値であるCは、時期が不確定のものも各時期に加算したもので、例えば大窯第1段階に比定されるものは、第1小期、第2小期にそれぞれ1点としてカウントされている。

グラフ (図126) 上で段階ごとの点数 (A) を見ると、大窯第1・第4段階に低いピークがあり、第2・第3・第5段階は谷となっている。ただし、大窯第5段階には連房式登窯による生産が開始されているため (瀬戸市1994)、そちらの製品が主体になっているものと思われる。点数は連房式期に入ると急増し、第1・第2段階はほぼ横ばいで、第3段階には再び急増する。さらに細かく小期まで絞り込めたものの点数 (B) を見ると、連房式期にもピークが見られ、第2・第7・第11小期に比定されるものが多いことが

表 19 山茶筒 時期別点数表

		型式	3	4	4斬	5	5斬	6	7	8	9	10	11
尾張	碗		1	1									
	小碗・小皿		1		3								
	片口鉢			1						1			
		型式	1	1斬	2	2斬	3-1	3-2	3-3				
濃美・湖西	輪花碗		1		2								
	碗				1	3	1						
	小碗・小皿				1		1						
		型式	谷迫 陶	透關 窯下	釜淵	白土 撰	明和	大畑 大淵 4	大畑 大淵 4斬	大淵 東	輪之 島		
東濃	碗		2	1	1	1	1			1	1		

表 20 古瀬戸製品 時期別点数表

		様式	前期	中期		後期			
		小期	I~II期	IV期	I	II	III	IV古	IV斬
古瀬戸	平碗					1			1
	天目茶碗							2	
	折縁深皿・黒縁大皿					1			
	腰折皿								1
	楕鉢								3
	異型香炉				1				
	蓋							1	
香・燈・鳥皿					1				

表 21 肥前磁器製品 時期別点数表

		II-1	II-2	III	IV-1	IV-2	V
肥前磁器	丸碗			2			
	くわらんか						2
	小杯		1				
	蕎麦椀				1		
	陶製湯呑				1	1	
	染付皿				1		

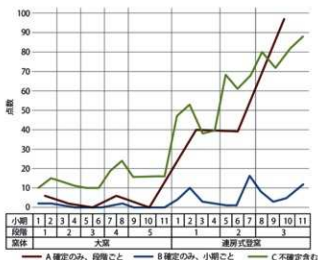


図 126 瀬戸美濃大窯・連房式登窯製品 時期別点数グラフ

分かる。参考値 (C) を見ても、時期が下るとともに点数が増加する傾向とともに、A・B で見られたようなピークが出現している。

肥前磁器 (表 21) 古いものではⅡ-1 期の小杯が 1 点あり、Ⅲ期には丸碗、Ⅳ～Ⅴ期には箱型湯呑などが出土する。点数の面ではほぼ横ばいである。

遺跡の時期設定 以上の結果を踏まえて、遺物の量の多さを基準として万瀬遺跡の古代以降には以下の時期を設定し、対応する遺物の型式等を示した。

中世 1 期 (12 世紀前葉～13 世紀中葉) 山茶碗尾張型第 4～7 型式併行期製品、伊勢型鍋

中世 2 期 (14 世紀後葉～16 世紀初頭) 古瀬戸後期様式～大窯第 1 段階製品、
くの字型内耳鍋

近世 1 期 (16 世紀末～17 世紀後葉) 大窯第 4 段階～連房式第 1 段階製品、
肥前Ⅱ・Ⅲ期製品、半球形内耳鍋

近世 2 期 (18 世紀中葉～19 世紀中葉) 連房式第 7 小期～第 11 小期製品、
肥前Ⅴ期製品、焙烙

各期に対応する遺物の数は、中世 1 期が 41 点、中世 2 期が 20 点、近世 1 期が 80 点、近世 2 期が 143 点である。

遺物分布の変遷 図127に10mグリッドごとの遺物出土点数、図128には出土重量の分布を示した。濃い色で示されているグリッドほど相対的に出土量が多いことを示している。なお、出土グリッドが確定しないものは省いた。

中世1期では14区北西部の3930グリッドを中心とするエリアに遺物が集中し、19C区の3333グリッドにも若干であるが出土が見られる。19B区では3729グリッドでのみ出土が見られるが、これは14区北西部を中心としたエリアの周縁部と捉えうる。

中世2期では、14区北西部での出土は減少し、3333グリッド周辺が優越するようになり、19B区での出土地点は山側へ移っている。ただしこの時期の遺物は他の時期と比較して少なく、活動は低調であったものと考えられる。

近世1期では3930グリッドを中心とした14区北西部～19A区南西部での出土が再び増加するのに対し、19C区では、出土点数では微増しているが、重量ではむしろ減少している。また、3428グリッドで一定数の遺物が出土するようになり、このころに19B区中央部の平坦面が利用され始めたことを示している。

近世2期では、19B区中央部での出土が点数・重量ともに最大となり、19C区でも再び出土量が増加する。一方で14区北西部での出土量は減少するが、14区・19A区の広い範囲で遺物が出土するようになることが見て取れる。

中心域の変遷 以上の出土分布の変遷からみると、中世以降の万瀬遺跡には3つの活動の中心域が見いだせる。14区北西部～19A区南西部(1)、19C区(2)、19B区中央部(3)である。

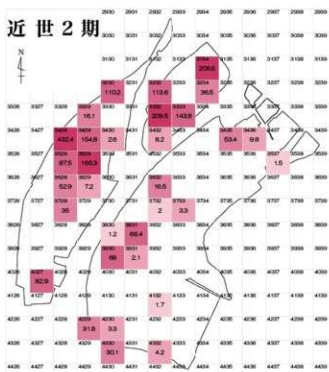
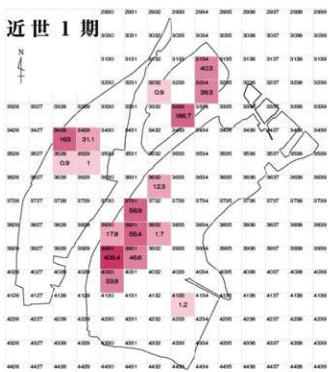
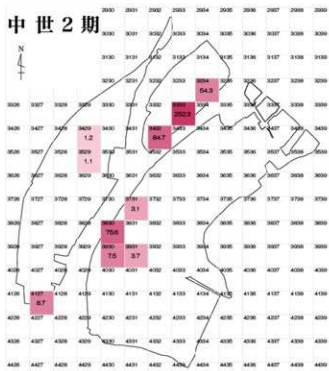
中世1期に(1)で活動が始まり、中世2期には遺跡全体が衰微するも、(2)を中心とした活動が見られる。近世1期には再び(1)での活動が活発化して(2)での活動が衰え、(3)での活動が始まる。近世2期には(1)が再び低調となり、(2)が活発化するとともに、(3)が最盛期を迎える。

参考文献

- 山茶碗 藤澤良祐 1994『山茶碗研究の現状と課題』『研究紀要3』三重県埋蔵文化財センター
愛知県 2007『愛知県史別編 窯業2 中世・近世 瀬戸系』
古瀬戸 愛知県 2007『愛知県史別編 窯業2 中世・近世 瀬戸系』
瀬戸美濃 瀬戸市 1994『瀬戸市史 陶磁史編4』
〃 1994『瀬戸市史 陶磁史編5』
〃 1998『瀬戸市史 陶磁史編6』
肥前 九州近世陶磁学会 2000『九州陶磁の編年 九州近世陶磁学会10周年記念』

謝辞

遺物の産地、時期の比定に関しては愛知県埋蔵文化財センター鈴木正貴氏、瀬戸市文化振興財団の金子健一氏の御両名のご教示を得た。末筆ながら記して感謝を申し上げる。



0 S=1:1600 40m

图 128 中近世遺物出土重量 (g) 分布图 (S=1/1600)

第3節 遺構の変遷について

はじめに 遺構からの出土遺物を参考に、万瀬遺跡で遺構がどのように変遷したかを示す(図129・図130)。なお、時期が判明していないものは基本的に省いている。

縄文時代 早期 19C区南部から19A区中部にかけて、1700～1740SI、2400SIの6基の竪穴建物が営まれる。付近では炉穴(1527SL、2116SL、2127SL、2445SL)が利用され、2400SI廃絶後には集石炉2447～2449SLが造られる。付近では自然の谷地形に包含層2500SXが形成され、対岸には土器が横位で出土した土坑2429SKがある。

中世1期 14区北西部から19B区南西部にかけて、鍛冶遺構14区013SLとその作業場14区043SIが造られ、付近に土坑が2基確認されている。19C区南部にも土坑が3基あるが、この時期の住居などは確認できない。

中世2期 19C区南部で大型掘立柱建物1650SBが建てられ、規模や形状から倉としての機能が想定される。その周辺には土坑・溝(1467SK・1263SP・1265SK・1266SK・1557SK・1252SD)が展開する。土葬土坑墓のうち2178SZはこの時期に属する。

近世1期 19C区南部で、おそらくは建て替えを挟みつつ継続していた1650SBがこの時期のうちに廃絶する。19A区の南西部で柱列2600SAが建てられ、2610SAに建て替わる。19B区中央部の平坦面で遺構からの遺物の出土が見られるようになり、320SBはこの時期か、あるいは近世1期と2期の間に属する。340SAの出土遺物は近世1期が主体であるが、近世2期のものを含んでおり、隣接する320SBと主軸方位が一致することも考慮すると、320SBと同時期に整備されたものと推測される。

近世2期 19B区中央部の平坦面では320SBが310SBに建て替わるとともに、330SBが建てられる。付近では焼土・炭化物・被熱礫を含む炉跡(廃棄土坑?)105SLが連続して使われ、大型の土坑017・031・032SXが掘り込まれる。平坦面の山側では340SA、川側の斜面では350SAが建てられており、土留めなどの機能が想定される。平坦面の南側には自然流路081NRがあり、この時期におおよそ埋没する。谷の対岸には212SEが存在する。19A区では土葬土坑墓2224SZ・2464SZが造られるが、建物は見られず、主に墓域として扱わ

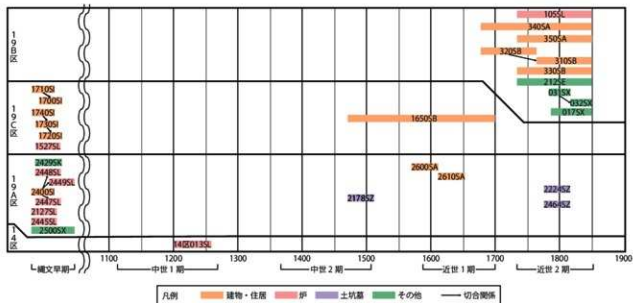


図129 主要遺構変遷図

れたものと考えられる。

時期不明 時期不明とした遺構のうち、掘立柱建物跡と考えられるものには、19C区の1600SB、
遺構 1630・1640SBがあるが、出土遺物から、後者は近世2期の初め頃に建て替えが行われたか
 廃絶したものと思われる。1600SBについては直接の出土遺物がないが、周辺の出土遺物
 を考慮すると、少なくとも中世2期以降に位置づけられよう。



图 130 主要遺構分布図

第4節 総括

万瀬遺跡の平成26年度・令和元年度調査では、縄文時代草創期から近世に至るまでの成果が得られた。以下に時期ごとの主要な成果を示す。

縄文時代 早期前半に比定される竪穴建物群(1700SI～1740SI、2400SI)、煙道付き炉穴(2127SL)を含む炉穴および捨て場(2500SX)が確認され、それ以外の時期の遺構は確認できない。

土器では、縄文時代草創期～早期前半、縄文時代後期前葉～中葉前半、後期後葉～弥生時代前期のものが出土する。中でも遺存状態のよいものとしては、縄文時代草創期～早期前半の表裏に縄文を施す深鉢(0408)、縄文時代晩期中葉～弥生時代前期の二枚貝条痕を施す深鉢(0317)などが挙げられる。

石器では、木葉形尖頭器(1083)、有舌尖頭器(1046・1105)が草創期に遡る。剥片・石核は小型のものを含め多量に出土し、製品としては石鏃、スクレイパー、打製石斧、鏝器、磨石、礫石類などが一定数見られるほか、大型石棒?(1301)、岩偶岩版類(1302)なども見られる。

弥生時代中期から古代 遺物がごく少なく、この時期の遺構も確認されない。

中世 14区北西部に13世紀前葉ごろの鍛冶遺構(14区013SL)とその作業場(14区043SI)が確認され、遺物もその周辺に集中する。15世紀後葉には19C区で倉と想定される大型掘立柱建物(1650SB)が成立し、同時期かやや遅れて、19A区には土葬土坑墓(2178SZ)が掘られる。

遺物は、12世紀前葉から13世紀後葉にかけての山茶碗が一定数、伊勢型鍋(2059)が1点出土し、空白期の後、古瀬戸中期様式Ⅳ期の筒型香炉(2064)を皮切りに、古瀬戸後期様式～大室期の施軸陶器が出土するようになる。輸入陶磁器は出土しない。

近世 19C区では17世紀後半頃までに1650SBが廃絶するが、その後も複数の掘立柱建物(1600SB、1630・1640SB)が建てられる。19B区では18世紀～19世紀中葉にかけて、掘立柱建物(310SB・320SB・330SB)や柱列(340SA・350SB)、炉(または廃棄土坑)105SLや大型土坑(17SX、31SX・32SX)などからなる遺構群が現れ、遺物も集中して出土する。また、南側の谷地形081NRを挟んだ対岸、やや離れた位置には丸木の加工材、鏝積み、板材の三段構造を持つ井戸212SEが掘り込まれる。19A区では16世紀末～17世紀初頭に南西部で2600SA、2610SAが立て続けに築かれ、この時期の遺物も集中するが、掘立柱建物として認識できるものはない。現道下など未調査の区画に当該期の建物が存在する可能性がある。19A区ではその後、土葬土坑墓(2224SZ、2464SZ)が展開するようになり、生活域の19B区・19C区に対する墓域として利用されたものと考えられる。

遺物は、大室期から連房式登窯期の瀬戸美濃産施軸陶磁器が半分以上を占め、途切れなく出土しているが、18世紀前葉ごろのものはやや少なく、その後再び大量に出土するようになる。これは19B区の遺構群の成立とも連動するものと推定される。他地域の陶磁器では、少数の常滑製品とともに、肥前磁器が少量ながら近世を通して出土している。その他、銅類を中心とした土師器が一定数出土する。

万瀬遺跡では、縄文時代早期前半に加え、中世に端を発し近世後半に最盛期を迎える集落の様子を確認することができただけでなく、それ以外の時期の活動域についても存在を示唆する結果が得られた。本報告が、本遺跡の立地する川向地域、ひいては設楽町域や周辺地域の歴史の理解において、少しでも助けになれば幸いである。

表24-1 石器 掲載遺物一覧表(1)

発掘 年度	遺跡 ナンバ	遺物 ナンバ	遺物 名称	長さ(mm)		重さ (g)	石材	種類	用途	発見状況	備 考	写真 上/下 番号	資料 番号	備考	
				最大	最小										
0004	14	3000	00105 1200	11.5	5.6	2.4	163.7	安山岩	打製石	磨削	定形	-	1401	26	
0002	14	3000	004X	6.1	5.8	2.1	100.1	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	0319	39	
0003	14	3000	0420 直丁	8.6	7.0	2.0	92.8	安山岩	打製石	スライパー	-	-	1400	60	
0004	14	3000	0020	7.0	5.2	2.0	100.0	安山岩	打製石	石臼	石臼	○	1719	103	遺物1
0005	14	3000	008	2.4	1.2	0.2	0.5	丸凝灰岩	打製石	押石	磨削欠	-	1405	82	
0007	14	3011	008 糸	1.1	0.0	0.0	0.3	安山岩	打製石	打製	丸凝灰岩のみ	-	-	143	
0008	14	4000	008	14.7	6.2	2.0	251.8	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	0043	153	
0009	14	3000	008	11.1	4.0	2.1	120.6	安山岩	打製石	磨削	定形	-	0008	30	
0010	14	3011	表土層(008)	4.8	3.0	2.0	82.0	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	0011	141	
0010	14	3000	008	10.5	5.8	2.6	113.3	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	0103	94	
0011	14	3000	008	4.0	3.1	0.6	7.1	凝灰岩	磨削石	磨削	一定のみ	-	0000	100	
0012	14	3000	008	11.3	4.8	2.0	48.9	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	0011	111	
0013	14	4012	0000 1200	11.7	6.0	3.1	163.0	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)100	-	0066	106	
0014	14	-	磨石	10.0	4.4	1.5	46.9	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	-	173	
0015	14	-	磨石	10.0	8.5	4.4	310.7	安山岩	打製石	打製	不定形	-	175		
0016	000	3028	001 赤土	7.4	2.4	0.8	25.3	安山岩	打製石	打製	スライパー	定形	0077	813	
0017	000	3729	001 赤土	2.4	1.2	0.8	1.6	丸凝灰岩	打製石	スライパー	不定形	0426	1037		
0018	000	3728	001 赤土	10.5	5.4	2.6	170.5	安山岩	打製石	磨削	不定形	0072	810		
0019	000	3028	001 赤土	6.4	5.2	1.6	90.0	安山岩	打製石	磨削	不定形	0000	810		
0020	000	3729	001 赤土	9.8	4.6	1.9	47.0	安山岩	打製石	磨削	不定形	0324	818		
0021	000	3729	001 赤土	8.2	5.0	1.7	46.9	安山岩	打製石	打製石	不定形	0303	819		
0022	000	3729	001 赤土	9.3	8.2	2.0	147.3	安山岩	打製石	磨削	不定形	0006	820		
0023	000	3729	001 赤土	6.0	4.6	2.2	48.4	安山岩	打製石	磨削	不定形	0000	820		
0024	000	3729	001 赤土	11.6	6.7	5.0	273.3	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	0007	821	
0025	000	3729	001 赤土	7.5	5.4	2.6	103.3	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	0441	820	
0026	000	3029	001 赤土	8.8	4.0	5.4	74.2	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	0354	823	
0027	000	3029	磨石	11.3	4.3	2.0	125.7	凝灰岩	磨削石	磨削	不定形	0001	823		
0028	000	3029	石臼	8.1	6.6	1.2	38.2	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	発掘の際の遺物 1.7	-	0002	824	
0029	000	3532	石臼	10.8	10.6	5.3	204.8	丸凝灰岩	打製石	不定形	石臼	-	1743		
0030	000	3534	001 赤土	3.6	3.4	1.1	11.2	0.5mm7	磨削石	磨削石のみを半磨削	不定形	0006	825		
0031	000	3533	001 赤土	7.0	3.1	3.4	121.7	安山岩	打製石	磨削	不定形	0177	1124		
0032	000	3534	001 赤土	6.5	3.8	1.9	34.4	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	0010	1126	
0033	000	3534	1000P	4.5	2.4	1.0	11.2	凝灰岩	磨削石	定形	二層以上の赤土層	-	0072		
0034	000	3533	1200R	8.1	5.3	4.4	182.3	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	1071		
0035	000	3533	1270L	4.0	2.4	1.2	17.7	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0177	1124		
0036	000	3413	1700R	11.0	8.8	4.1	420.2	安山岩	打製石	磨削	不定形	0116	1126		
0037	000	3413	1700R	2.2	1.9	1.2	3.7	丸凝灰岩	打製石	不定形	不定形	0000	1142		
0038	000	3413	1700R	11.0	7.6	7.1	703.2	安山岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	○	0024	1133	
0039	000	3413	1700R	1.6	1.1	0.5	0.7	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	-	0024	1133	
0040	000	3523	磨石	2.6	2.2	0.9	5.4	丸凝灰岩	打製石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	○	0000	1746	
0041	000	3534	石臼(赤褐色土)	1.5	1.0	0.3	0.6	丸凝灰岩	打製石	不定形	不定形	0117	1744		
0042	000	3533	石臼(赤褐色土)	4.8	2.4	1.1	11.3	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0000	1730		
0043	000	3412	石臼(赤褐色土)	4.6	2.4	0.8	7.0	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0146	1732		
0044	000	3533	石臼(赤褐色土)	6.0	3.6	2.3	26.9	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0146	1732		
0045	000	3533	石臼(赤褐色土)	4.0	3.1	0.8	38.7	安山岩	打製石	磨削	不定形	0000	1740		
0046	000	3033	3010R	2.6	1.5	0.5	1.8	凝灰岩	磨削石	有孔磨削	丸凝灰岩のみ	0121	1103		
0047	000	3735	2510R	9.3	5.3	3.2	266.5	丸凝灰岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0148	1172		
0048	000	3734	3100R	3.2	3.0	2.0	30.0	凝灰岩	磨削石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0148	1186		
0049	000	3735	2510R	1.6	1.2	0.5	0.8	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	0139	1189		
0050	000	3735	2510R	4.0	1.9	0.8	4.3	丸凝灰岩	打製石	不定形	不定形	0148	1189		
0051	000	3415	2510R	6.5	6.0	3.0	130.8	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	1187		
0052	000	3416	2510R	19.0	10.0	7.0	1322.5	丸凝灰岩	打製石	石臼	石臼	○	1211		遺物107
0053	000	3416	2512R	5.9	4.1	2.0	46.3	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	-	1213			
0054	000	3537	2510R	6.2	5.2	2.7	48.8	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	1215		
0055	000	3536	2510R	8.2	6.2	3.3	252.9	安山岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0000	1219	
0056	000	3415	2510R	8.1	3.8	1.9	65.5	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	-	0000	1221	
0057	000	3415	2510R	9.6	5.8	2.9	203.1	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	0004	1227		
0058	000	3415	2510R	1.5	1.2	0.2	0.4	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	0345	1228		
0059	000	3535	2510R	2.0	2.2	2.0	8.1	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0126	1231		
0060	000	3414	2510R	8.5	5.1	2.7	149.4	安山岩	打製石	磨削のみ	磨削のみ	0124	1233		
0061	000	3734	3400R	3.1	1.5	0.4	2.3	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0099	1317		
0062	000	3734	3400R	4.3	3.8	2.7	36.4	凝灰岩	磨削石	不定形	不定形	0546	1369		
0063	000	3734	3400R	6.4	4.3	0.9	25.8	安山岩	打製石	磨削	不定形	0000	1302		
0064	000	3734	3400R	6.1	5.5	1.6	36.3	安山岩	打製石	磨削	不定形	0004	1303		
0065	000	3734	3400R	10.1	6.3	2.2	42.5	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	打製(石臼)赤土層	0099	1374		
0066	000	3735	2400R	6.8	6.2	2.0	125.6	安山岩	打製石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	0026	1375		
0067	000	3533	3411R	6.0	2.9	0.5	15.2	安山岩	打製石	磨削	不定形	0021	1318		
0068	000	3414	3400R	2.7	1.8	0.6	3.4	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	-	1319		
0069	000	3033	2424	12.2	7.6	2.6	225.8	安山岩	打製石	磨削	不定形	0547	1325		
0070	000	3532	2424	7.8	5.6	1.3	71.1	スライパー	打製石	スライパー	不定形	0000	1316		
0071	000	3536	2400R	1.2	1.2	0.3	0.4	丸凝灰岩	打製石	打製	不定形	0000	1334		
0072	000	3534	3400R	3.6	3.7	1.1	15.8	凝灰岩	磨削石	二層以上の赤土層	二層以上の赤土層	-	1340		
0073	000	3534	3400R	9.7	7.0	2.9	207.3	安山岩	打製石	不定形	不定形	0468	1348		
0074	000	3735	3400R	5.9	6.2	1.0	74.9	安山岩	打製石	磨削	不定形	0047	1351		
0075	000	3734	3400R	12.5	8.5	8.1	1161.3	安山岩	打製石	磨削のみ(石臼)	磨削のみ(石臼)	0000	1388		
0076	000	3734	3400R	8.5	7.7	3.2	681.7	安山岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0004	1387	
0077	000	3734	3400R	10.8	5.5	4.8	307.4	安山岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0004	1389	
0078	000	3734	3400R	10.5	6.6	5.1	402.0	安山岩	打製石	磨石(石臼)	磨石(石臼)	磨石(石臼)	0004	1391	
0079	000	3416	3400R	8.7	4.3	1.4	46.1	安山岩	打製石	磨削	不定形	0000	1420		
0080	000	3416	3400R	5.4	3.2	1.5	28.3	安山岩	打製石	磨削	不定形	-	1420		

表 24-2 石器 掲載遺物一覧表 (2)

発掘 番号	調査 年次	出土 層位	遺物 名称	検出箇所		出土 層位	石種	形状	分類	現存状況	館上/下層位 番号	登録 番号	備考	
				長さ	幅									
9081	1946	3075	石斧頭	7.2	7.1	1.4	珪岩	管状断面	横切	管状断面、横切	2	1436		
9082	1946	3072	石斧頭	2.7	1.0	1.0	2.3	珪岩断面	小断面	小断面	-	1436		
9083	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	5.9	3.2	1.0	17.9	珪岩断面	本断面/断面	定形	0673	1493		
9084	1946	3433	2000X 土器-表面色上 F	2.2	1.0	1.0	4.4	珪岩断面	小断面	定形	0672	1493		
9085	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	2.2	1.0	1.0	4.4	珪岩断面	小断面	定形	0287	1493		
9086	1946	3330	2000X 土器-表面色上 F	4.1	3.4	1.9	20.9	珪岩断面	小断面	定形	0286	1493		
9087	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	8.9	5.4	4.8	23.2	珪岩断面	横切	定形	0287	1493		
9088	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	8.6	7.2	3.1	23.9	珪岩断面	横切	定形	0273	1493		
9089	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.9	6.4	3.1	17.8	珪岩断面	横切	定形	0282	1493		
9090	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	11.7	8.0	1.8	30.0	珪岩断面	横切	定形	0450	1493		
9091	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.7	4.4	2.6	40.0	珪岩断面	横切	定形	0472	1493		
9092	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.4	4.8	2.0	27.9	珪岩断面	横切	定形	0473	1493		
9093	1946	3433	2000X 土器-表面色上 F	5.9	3.9	1.2	26.2	珪岩断面	横切	定形	0476	1493		
9094	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	7.9	4.5	1.7	46.7	珪岩断面	横切	定形	0286	1493		
9095	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.9	2.7	1.3	34.1	珪岩断面	横切	定形	0480	1493		
9096	1946	3433	2000X 土器-表面色上 F	3.9	2.9	1.1	35.3	珪岩断面	横切	定形	0482	1493		
9097	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	5.9	4.6	1.3	22.8	珪岩断面	横切	定形	0278	1493		
9098	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	5.7	4.6	1.4	29.2	珪岩断面	横切	定形	0285	1493		
9099	1946	3433	2000X 土器-表面色上 F	5.8	2.4	0.8	11.4	珪岩断面	横切	定形	0214	1493		
1100	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	3.8	3.3	1.3	16.7	珪岩断面	横切	定形	0286	1493		
1101	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	9.8	7.9	3.7	29.8	定形	横切・横切、直切		0286	1494		
1102	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	85.7	58	6.0	69.5	アサヒイロ	横切・横切、直切	横切・横切、直切	0467	1738		
1103	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	9.2	8.7	3.7	23.9	アサヒイロ	横切・横切	横切・横切	1段	0288	1493	
1104	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	80.8	72	5.7	63.3	青磁土	横切・横切	横切・横切、直切	0467	1738		
1105	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	3.7	3.2	0.7	8.3	横切	有角断面	丸断面/横切	0286	1493		
1106	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	1.7	1.6	0.4	1.1	珪岩断面	横切	横切、直切	丸断面/横切	0336	1473	
1107	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	1.4	0.9	0.3	0.3	珪岩断面	横切	横切、直切	丸断面/横切	0627	1287	
1108	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	1.2	1.2	0.4	0.5	珪岩断面	横切	横切、直切	定形	0649	1170	
1109	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	1.2	0.9	0.3	0.3	珪岩断面	横切	横切、直切	定形	0649	1170	
1110	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	2.2	1.2	0.6	1.3	珪岩断面	横切		0675	1735		
1111	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.9	3.1	1.0	14.9	珪岩断面	二次断面のある小断面	断面/断面/断面	断面/断面/断面	0677	1493	
1112	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	3.5	2.9	1.1	12.4	珪岩断面	二次断面のある小断面		0677	1493		
1113	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	2.0	1.6	0.8	1.7	珪岩断面	二次断面のある小断面		0789	1637		
1114	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	3.5	3.3	1.4	15.2	珪岩断面	横切	断面	0789	1637		
1115	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	4.9	3.4	0.8	7.8	珪岩断面	断面	断面/断面のある小断面	0666	1493		
1116	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	2.3	1.1	0.3	1.0	珪岩断面	小断面		0286	1493		
1117	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	1.6	1.1	0.3	0.5	珪岩断面	小断面		0286	1493		
1118	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	3.5	1.2	0.4	1.3	珪岩断面	小断面		0642	1170		
1119	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	7.3	5.7	1.4	30.9	珪岩断面	小断面		0278	1493		
1120	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	7.3	5.0	1.2	36.3	珪岩断面	小断面		0482	1493		
1121	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	5.0	3.6	0.8	12.0	珪岩断面	小断面		0744	1633		
1122	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	4.3	2.7	1.2	9.3	珪岩断面	小断面		0601	1493		
1123	1946	3433	2000X 土器-表面色上 F	3.6	2.9	0.7	6.9	珪岩断面	小断面		0609	1739		
1124	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	3.4	3.0	0.9	6.2	珪岩断面	小断面		0602	1168		
1125	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	2.9	2.3	0.9	6.9	珪岩断面	小断面		0603	1493		
1126	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	4.3	2.3	0.6	5.3	珪岩断面	小断面		0676	1736		
1127	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	3.7	1.7	0.8	3.3	珪岩断面	小断面		0489	1168		
1128	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	2.1	1.8	0.7	2.4	珪岩断面	小断面		0630	1169		
1129	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	3.2	1.2	0.6	1.5	珪岩断面	小断面		0924	1734		
1130	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	5.3	3.1	1.8	22.4	珪岩断面	小断面		0446	1493		
1131	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	6.1	4.9	1.2	27.5	珪岩断面	小断面		0925	1474		
1132	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	7.0	5.0	1.0	14.3	珪岩断面	小断面		0337	1489		
1133	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	4.6	2.9	0.9	8.5	珪岩断面	小断面		0744	1633		
1134	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	5.7	2.0	1.6	14.2	珪岩断面	小断面		0649	1170		
1135	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.9	3.7	1.2	16.4	珪岩断面	小断面		0489	1170		
1136	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	2.1	1.7	1.5	1.9	珪岩断面	小断面		0483	1493		
1137	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	13.6	4.7	3.0	39.6	珪岩断面	断面	丸/断面/直切	定形	0289	1474	
1138	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	13.0	11.8	3.1	33.6	珪岩断面	断面	断面/土/直切		0803	1493	
1139	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	85.3	62	8.4	25.4	珪岩断面	横切		0802	1738		
1140	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	12.5	10.0	3.6	66.6	珪岩断面	横切		0543	1169		
1141	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	11.6	7.7	3.5	41.8	珪岩断面	横切		0801	1169		
1142	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	6.7	5.5	3.2	17.8	珪岩断面	横切		0789	1634		
1143	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	16.3	8.9	6.0	130.0	珪岩断面	横切		0483	1169		
1144	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	5.8	3.8	2.3	40.2	珪岩断面	二次断面のある小断面		0483	1169		
1145	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	5.8	3.6	1.8	18.5	珪岩断面	断面	断面/断面のある小断面	0281	1169		
1146	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	6.8	5.6	1.4	26.3	珪岩断面	断面	断面/断面のある小断面	0511	1169		
1147	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	16.8	8.3	5.2	306.2	珪岩断面	横切		0480	1497		
1148	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	7.4	6.9	3.1	46.3	珪岩断面	横切		0447	1494		
1149	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	7.2	4.7	3.0	40.0	珪岩断面	横切		0671	1739		
1150	1946	3238	2000X 土器-表面色上 F	7.9	4.5	3.8	74.3	珪岩断面	横切		0649	1170		
1151	1946	3035	2000X 土器-表面色上 F	6.0	5.8	2.2	75.3	珪岩断面	横切		0540	1168		
1152	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	8.8	4.1	1.4	34.8	珪岩断面	横切		0482	1169		
1153	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	6.4	4.8	1.6	45.1	珪岩断面	横切		0724	1640		
1154	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	7.3	3.9	1.1	14.9	珪岩断面	横切		0483	1169		
1155	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	7.3	3.6	1.7	38.1	珪岩断面	横切		0720	1640		
1156	1946	3434	2000X 土器-表面色上 F	6.0	3.6	2.1	27.7	珪岩断面	横切		0482	1169		
1157	1946	3435	2000X 土器-表面色上 F	5.3	2.8	1.5	21.8	珪岩断面	横切		0805	1497		
1158	1946	3436	2000X 土器-表面色上 F	3.8	3.3	1.3	46.3	珪岩断面	横切		0483	1169		
1159	1946	3034	2000X 土器-表面色上 F	5.3	3.3	1.3	30.3	珪岩断面	横切		0543	1164		
1160	1946	3033	2000X 土器-表面色上 F	3.9	3.4	1.4	18.9	珪岩断面	横切		0782	1493		

表 24-3 石器 掲載遺物一覧表 (3)

発掘 番号	調査 年次	遺物 番号	遺物 名称	遺物 寸法		重量 (g)	石材	用途	分類	現存状況	所蔵 機関	備考 1772-1781	備考 1782-1785	
				長さ	幅									
1161	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.4	4.2	2.1	76.3	安山岩	磨石	○	9660	1782		
1162	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	9.3	4.6	2.2	72.9	安山岩	磨石	○	9660	1782		
1163	1946	3336	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.8	4.6	1.6	46.6	安山岩	磨石	○	9672	1732		
1164	1946	3414	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.6	2.4	0.8	26.2	安山岩	磨石	○	9662	1782		
1165	1946	3405	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.8	4.4	1.3	32.2	安山岩	磨石	○	9740	1626		
1166	1946	3413	2500X 土のいし(厚板)上 T	8.2	4.3	1.4	34.9	安山岩	磨石	○	9742	1626		
1167	1946	3334	2500X 土のいし(厚板)上 T	8.6	3.1	1.2	46.3	安山岩	磨石	○	9749	1544		
1168	1946	3402	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.5	4.2	1.4	39.1	安山岩	磨石	○	9749	1626		
1169	1946	3335	2500X 土のいし(厚板)上 T	6.0	4.0	1.4	25.6	安山岩	磨石	○	9750	1673		
1170	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	4.9	3.7	1.3	16.1	凝灰岩	磨石	○	9750	1673		
1171	1946	3335	2500X 土のいし(厚板)上 T	4.7	3.7	0.9	12.6	凝灰岩	磨石	○	9754	1479		
1172	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	6.1	2.1	0.7	19.4	安山岩	磨石	○	9754	1626		
1173	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.3	3.1	0.9	13.4	凝灰質安山岩	磨石	○	9480	1534		
1174	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.0	6.1	4.0	227.4	安山岩	石槌	○	9756	1623		
1175	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	6.6	4.0	3.1	112.5	安山岩	石槌	○	9472	1528		
1176	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.3	3.8	1.8	34.9	安山岩	石槌	○	9757	1613		
1177	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.3	4.5	1.8	72.5	安山岩	石槌	○	9754	1649		
1178	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	4.5	3.6	1.8	36.2	凝灰質安山岩	磨石	○	9483	1534		
1179	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	12.2	4.9	2.1	107.0	片麻岩	磨石(砥石)	○	9725	1648		
1180	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	9.8	8.7	5.3	697.8	片麻岩	磨石(砥石)	○	9660	1674		
1181	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	12.2	7.6	4.3	522.6	片麻岩	磨石(砥石)	○	9620	1626		
1182	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	9.9	7.3	3.6	382.4	片麻岩	磨石(砥石)	○	9627	1626		
1183	1946	3334	2500X 土のいし(厚板)上 T	10.2	5.8	3.0	483.3	花崗正片麻岩	磨石(砥石)	○	9748	1529		
1184	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	6.6	7.5	4.8	402.2	花崗正片麻岩	磨石(砥石)	○	9660	1713		
1185	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	7.1	5.3	3.9	244.9	花崗正片麻岩	磨石(砥石)	○	9660	1710		
1186	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	14.5	35.5	7.2	1249.0	片麻岩	石槌(石槌)	○	9629	1626		
1187	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	27.4	16.4	6.2	666.0	片麻岩	石槌(石槌)	○	9629	1626		
1188	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	2.2	2.4	0.9	7.0	凝灰岩	スライヤー	○	9733	1626		
1189	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	2.4	1.7	0.3	2.4	片麻岩	スライヤー	○	9708	1626		
1190	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.4	4.0	1.5	13.8	凝灰質安山岩	小石臼	○	9717	1623		
1191	1946	3404	2500X 土のいし(厚板)上 T	5.8	1.8	1.3	13.0	凝灰岩	小石臼	○	9746	1514		
1192	1946	3406	磨石	3.9	1.6	0.4	2.3	凝灰質安山岩	磨石	○	9318	1731		
1193	1946	3774	磨石	1.9	0.6	0.4	0.3	凝灰質安山岩	二重加工の扁平磨石	○	1836	1829		
1194	1946	3813	磨石	2.1	2.5	0.9	5.0	凝灰質安山岩	機能不明の扁平磨石	○	1832	1823		
1195	1946	390113	磨石	6.4	4.1	0.9	33.3	安山岩	打撃石	○	1829	1829	1782	
1196	1946	3337	磨石	8.3	7.7	5.1	303.9	安山岩	石槌	○	1818	1829		
1197	1946	3600	磨石	16.0	4.0	2.4	284.1	凝灰質安山岩	磨石	○	1842	1829		
1198	1946	3236	起子(ノコギリ)	7.5	4.2	1.2	36.8	凝灰質安山岩	スライヤー	○	1798	1829		
1199	1946	3335	起子(ノコギリ)	2.1	1.9	0.3	0.3	凝灰質安山岩	石槌	○	1763	1829		
1200	1946	上	起子	3.5	2.4	1.2	11.8	凝灰質安山岩	スライヤー	○	1861	1829		
1201	1946	3636	起子	9.8	4.4	2.2	194.3	安山岩	打撃石	○	1829	1823	1782	
1202	1946	上	起子	36.9	34.2	12.3	2269.0	花崗正片麻岩	石槌	○	1861	1829		
1203	1946	3529	1952	30.0	34.5	11.3	1616.0	片麻岩	磨石	○	9660	1643		
1204	1946	3239(南)	1959-2 起子	13.5	8.0	2.7	493.6	片麻岩	磨石	○	1043	1829	1782	
1205	1946	3239(南)	1959-2 起子	14.1	5.3	3.6	463.8	片麻岩	磨石	○	1044	1829	1782	
1206	1946	上	1959-4 起子	16.3	6.5	4.7	474.2	片麻岩	磨石	○	1047	1829	1782	
1207	1946	上	1959-4 起子	16.0	13.3	6.2	1361.0	花崗正片麻岩	磨石	○	1048	1829	1782	
1208	1946	3529	1472P	30.0	17.4	8.3	539.0	片麻岩	磨石	○	9660	1633		
1209	1946	上	1745L 起子	18.5	13.2	9.3	2969.0	花崗正片麻岩	磨石	○	1049	1829	1782	
1210	1946	上	1745L 起子	19.8	15.2	6.0	1824.2	片麻岩	磨石	○	1049	1829	1782	
1211	1946	3233	12606K	25.7	14.6	4.7	2265.3	片麻岩	磨石	○	1047	1102	1782	
1212	1946	3771	3963P	17.0	14.5	8.7	3919.6	花崗正片麻岩	磨石	○	1107	1829	1782	
1213	1946	3635	2272P	13.0	26.0	6.4	646.0	片麻岩	磨石(小石臼)	○	1045	1176		
1214	1946	3774	3600K	20.0	12.7	4.4	1732.4	片麻岩	磨石(小石臼)	○	9660	1626	1782	
1215	1946	3774	3600K	19.0	14.3	6.3	3462.8	片麻岩	磨石	○	9660	1303		
1216	1946	3403	2500X 土のいし(厚板)上 T	13.3	8.2	6.0	1102.5	安山岩	磨石(小石臼)	○	9306	1443		
1217	1946	3232	16149K	27.0	11.8	16.3	609.0	片麻岩	大石臼(磨石)	○	9660	1626		
1218	1946	上	起子	3.5	3.8	0.9	6.4	凝灰質安山岩	片麻岩	○	1826	1826		
1219	1946	3429	0719K	30.5	9.0	6.0	4366.0	片麻岩	磨石	○	9660	1626		
1220	1946	3233	12706K	17.0	7.0	2.1	363.3	片麻岩	磨石	○	1101	1829		
1221	1946	3233	12696K	9.0	6.0	1.7	66.0	磨石	磨石(小石臼)	○	1101	1829		
1224	1946	3630	3914K	9.0	5.1	4.1	374.5	凝灰岩	磨石	○	1160	1829		
1225	1946	3611	3903K	7.7	2.7	0.8	13.0	凝灰質安山岩	磨石	○	1160	1829		
1226	1946	3630(3)	31125K	9.5	3.9	1.4	88.0	凝灰質安山岩	磨石	○	1170	1829		
1227	1946	3237	磨石	7.2	4.0	1.5	46.9	片麻岩	磨石	○	1170	1829		
1228	1946	3414	磨石	7.3	6.0	3.0	36.5	片麻岩	磨石	○	9306	1774		
1229	1946	3632	磨石	8.0	3.0	2.3	36.2	凝灰質安山岩	磨石	○	9447	1849		
1230	1946	3630	3611	上	13.0	8.8	1.8	346.0	片麻岩	磨石	○	1844	1829	
1231	1946	3414	2500X 土のいし(厚板)上 T	3.1	2.1	0.7	3.7	安山岩	小石臼	○	9484	1546	1772-1781	
1242	1946	3774	3600K	20.7	11.6	4.5	1470.2	片麻岩	磨石	○	9660	1294	1237-1246	

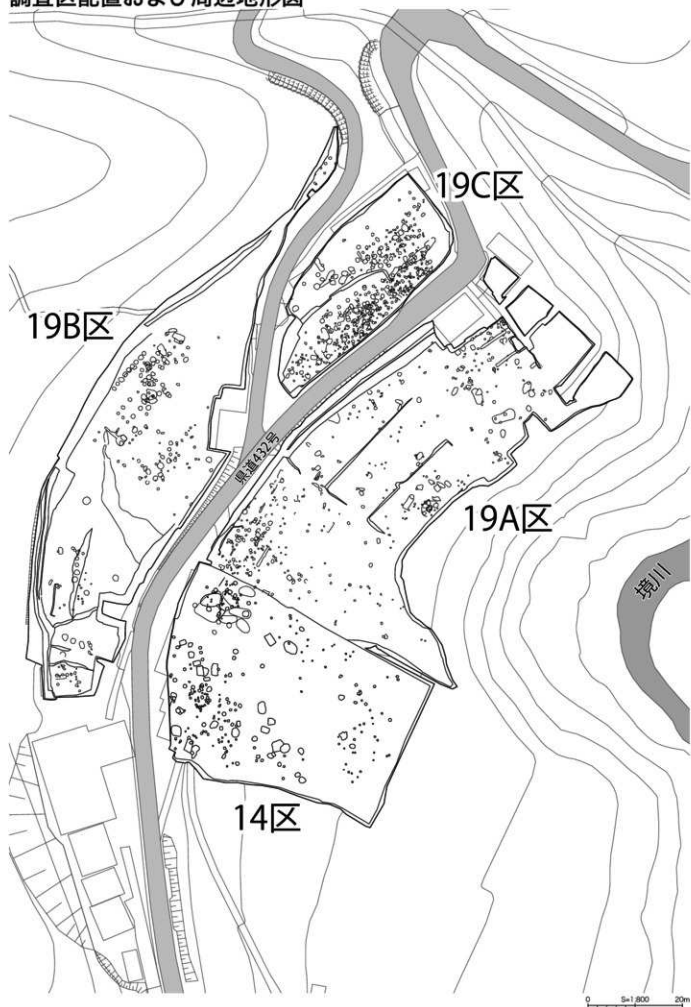
表 26 木製品 掲載遺物一覧表

掲載番号	調査区	グリッド	遺構	カテゴリ	法量 (cm) 括弧内は復元径または残存高		
					最大長	最大幅	最大厚
3001	19B	4027	212SE	井戸枠	(63.0)	11.5	3.2
3002	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.2)	11.5	2.9
3003	19B	4027	212SE	井戸枠	(65.5)	11.0	2.9
3004	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.8)	11.7	3.2
3005	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.3)	11.2	3.0
3006	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.4)	11.2	3.2
3007	19B	4027	212SE	井戸枠	(50.4)	11.4	2.9
3008	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.3)	10.7	3.1
3009	19B	4027	212SE	井戸枠	(57.8)	10.9	2.9
3010	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.4)	11.3	3.2
3011	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.2)	11.6	3.2
3012	19B	4027	212SE	井戸枠	(60.4)	11.5	3.4
3013	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.9)	10.9	3.1
3014	19B	4027	212SE	井戸枠	(55.9)	11.1	2.9
3015	19B	4027	212SE	井戸枠	(44.9)	12.3	3.2
3016	19B	4027	212SE	井戸枠	(47.4)	10.8	3.0
3017	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.3)	10.9	2.9
3018	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.7)	11.4	2.9
3019	19B	4027	212SE	井戸枠	(58.5)	11.3	3.1
3020	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.6)	11.6	3.1
3021	19B	4027	212SE	井戸枠	(63.7)	10.8	3.1
3022	19B	4027	212SE	井戸枠	(59.2)	11.2	3.1
3023	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.5)	12.0	3.2
3024	19B	4027	212SE	井戸枠	(62.6)	11.1	3.4
3025	19B	4027	212SE	井戸部材	84.1	21.4	20.1
3026	19B	4027	212SE	井戸部材	81.0	20.2	19.4
3027	19B	4027	212SE	井戸部材	83.1	14.4	20.6
3028	19B	4027	212SE	井戸部材	92.6	16.4	26.4
3029	19B	4027	212SE	井戸部材	89.7	10.9	21.4
3030	19C	3232	1062SK	曲物側板	(5.0)	(22.3)	0.8
3031	19C	3232	1062SK	曲物側板	(5.2)	(20.5)	0.3
3032	19C	3232	1062SK	柱材小	(22.8)	(8.9)	(6.1)

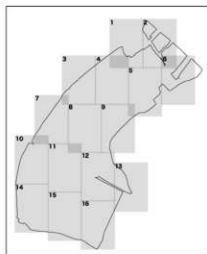
表 27 金属製品 掲載遺物一覧表

掲載番号	調査区	グリッド	遺構	位置	カテゴリ	用途	形状・時期	部位	測定・法量・状態			備考		
									最大長	最大幅	最大厚			
1	19A	3033	2179E2	3.9	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.8	2.8	0.1
2	19A	3033	2179E2	3.1	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
3	19A	3033	2179E2	2.3	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.3	2.3	0.1
4	19A	3033	2179E2	2.8	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
5	19A	3033	2179E2	2.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
6	19A	3033	2179E2	2.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
7	19A	3033	2179E2	21.3	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.7	2.6	0.1
8	19A	3033	2179E2	9.9	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.6	2.6	0.1
9	19A	3033	2179E2	6.6	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.7	2.6	0.1
10	19A	3033	2179E2	2.5	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
11	19A	3033	2179E2	3.3	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
12	19A	3033	2179E2	18.1	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.7	2.7	0.1
13	19B	3144	2124E4	1.7	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.6	2.6	0.1
14	19B	3428	1949E6	1.8	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
15	14	3930	289	3.8	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
16	14	3931	289	3.1	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
17	14	3931	289	17.3	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.8	2.7	0.1
18	19C	3034	289	3.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
19	19C	3114	289	2.2	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
20	19A	3033	289	1.7	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.4	2.4	0.1
21	19B	3231	289	2.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
22	19A	3033	2179E2	10.1	埋納品(井戸側板)	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	2.5	2.5	0.1
23	19A	3336	2087D9	0.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(4.9)	(11.3)	1.0
24	19A	3033	2179E2	1.6	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(4.1)	(8.9)	0.9
25	14	3930	289	1.7	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	3.8	1.2	0.3
26	14	3930	289	4.1	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(4.9)	(14.6)	0.3
27	14	3930	289	1.6	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(2.8)	(2.1)	0.1
28	14	3930	289	5.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(3.1)	(12.4)	0.8
29	14	3930	289	15.2	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(7.4)	(16.1)	(1.4)
30	19C	3330	12379E	4.9	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	(2.8)	(2.1)	(0.1)
31	19C	3330	12379E	4.3	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	6.7	8.8	0.8
32	19C	3330	12379E	4.1	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	6.7	8.8	0.8
33	19C	3330	12379E	10.4	埋納品	鉄釘	1000年代前半	全長	鉄釘(全長)	埋納品	埋納品	11.6	10.4	2.3

調査区配置および周辺地形図

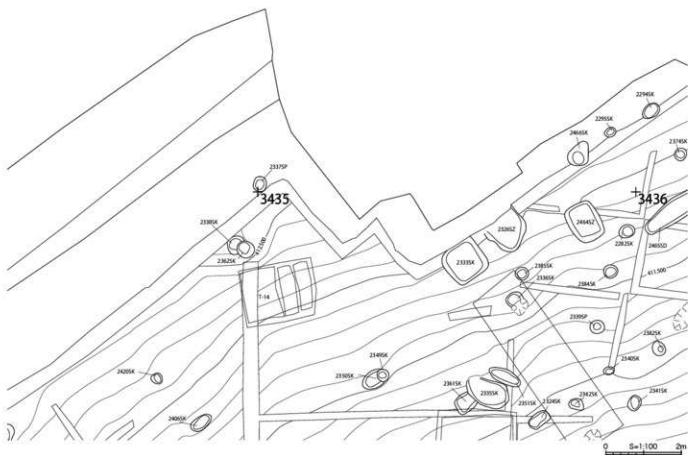


調査区平面図 1 (14区・19A区1)

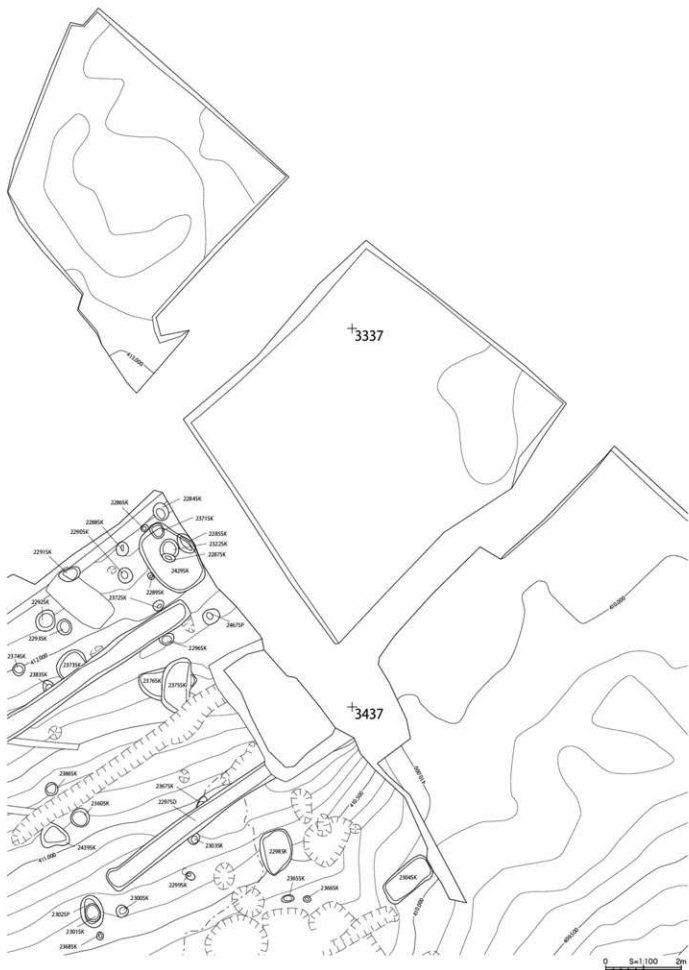


3335

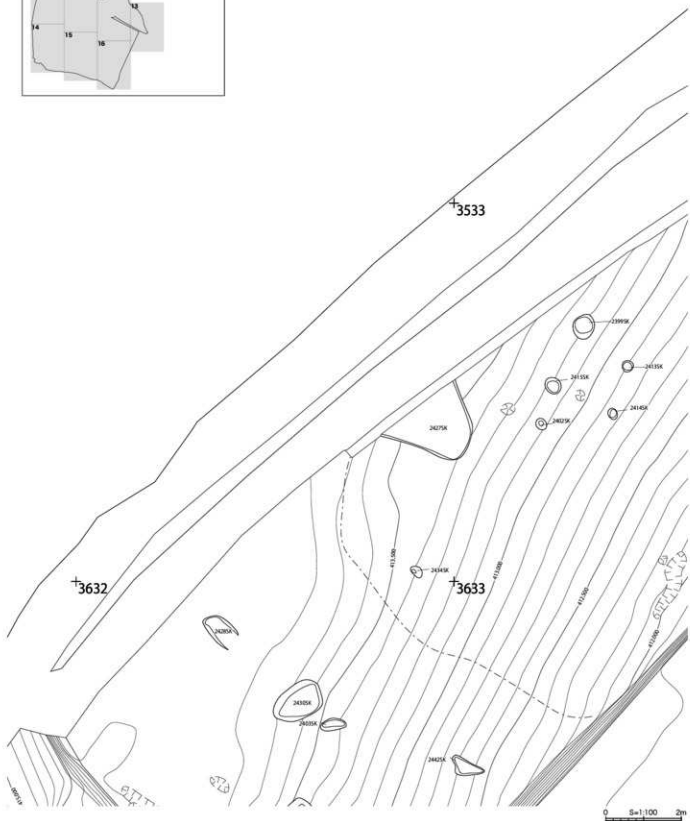
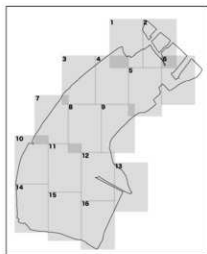
3336



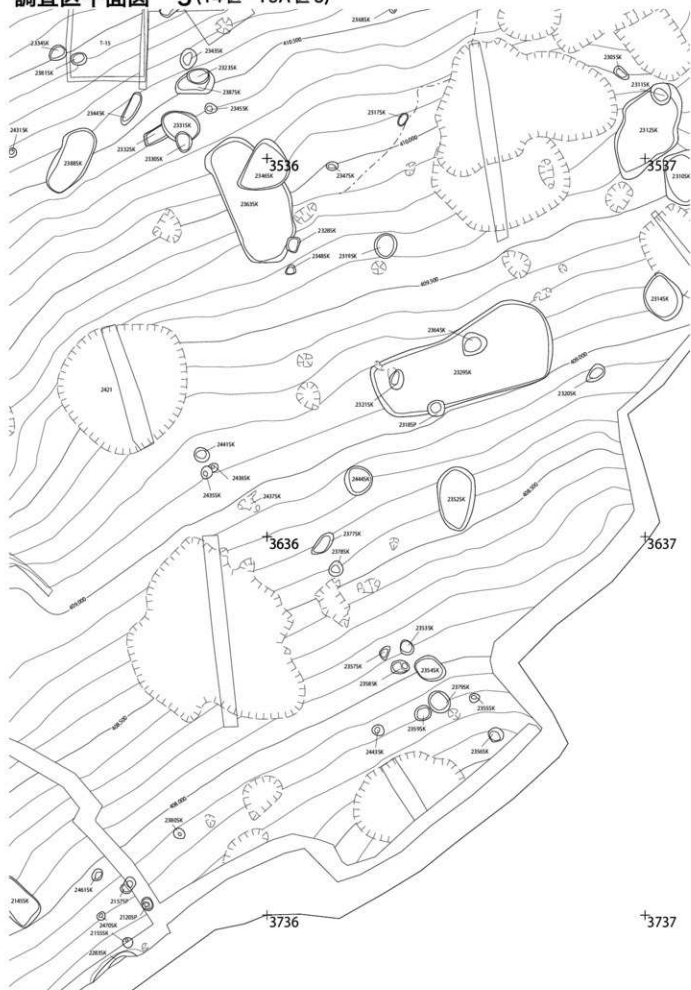
調査区平面図 2 (14区・19A区2)



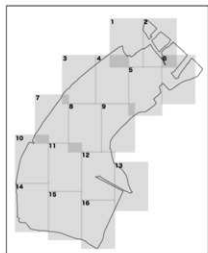
調査区平面図 3 (14区・19A区3)



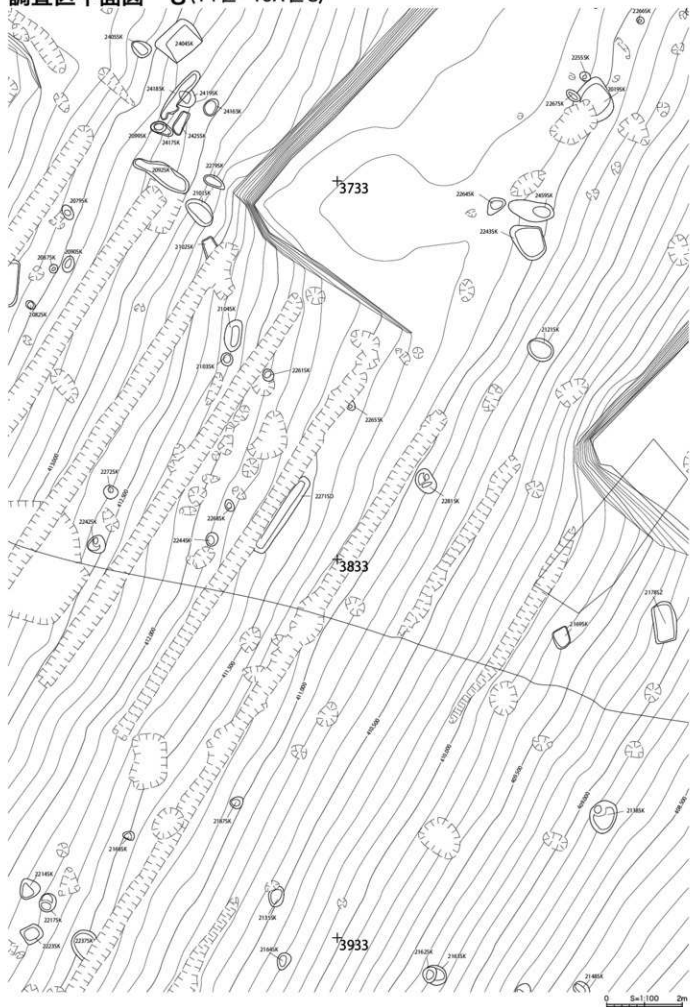
調査区平面図 5 (14区・19A区5)



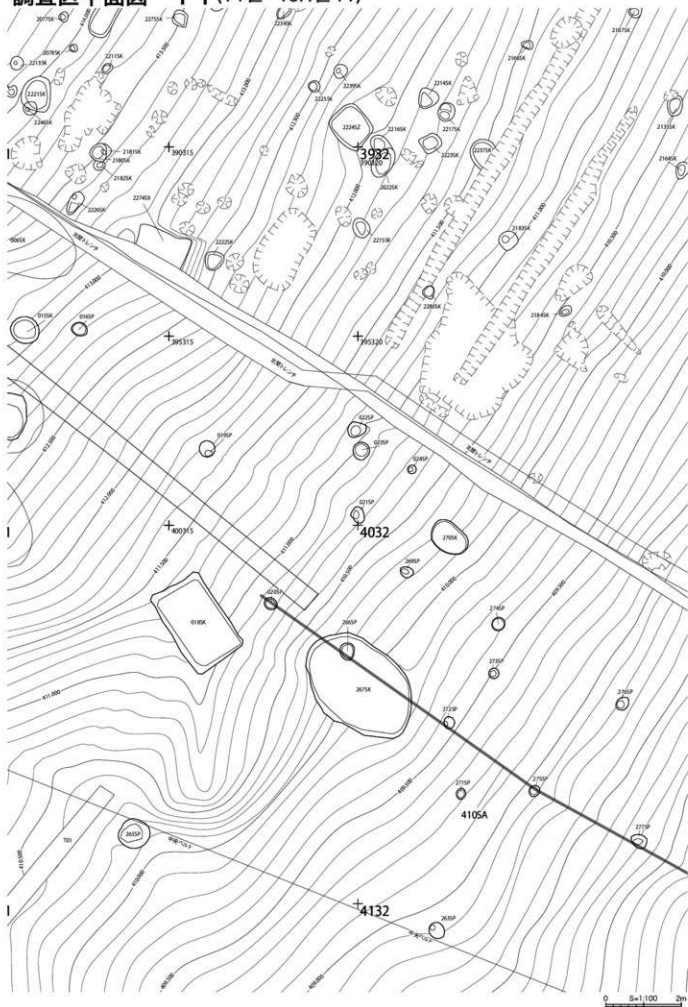
調査区平面図 6 (14区・19A区6)



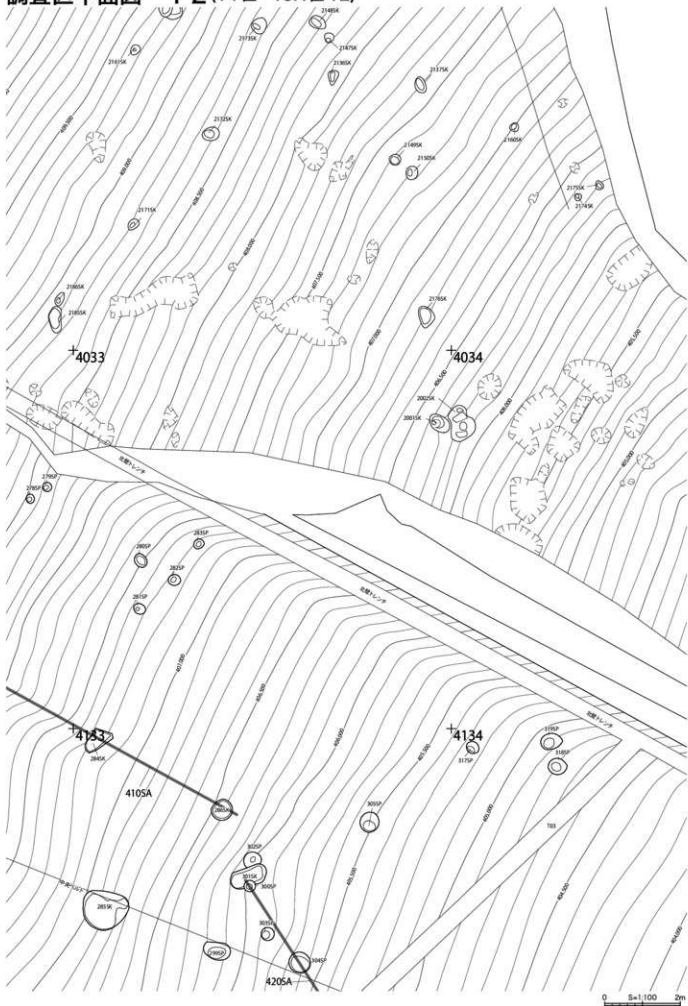
調査区平面図 8 (14区・19A区8)



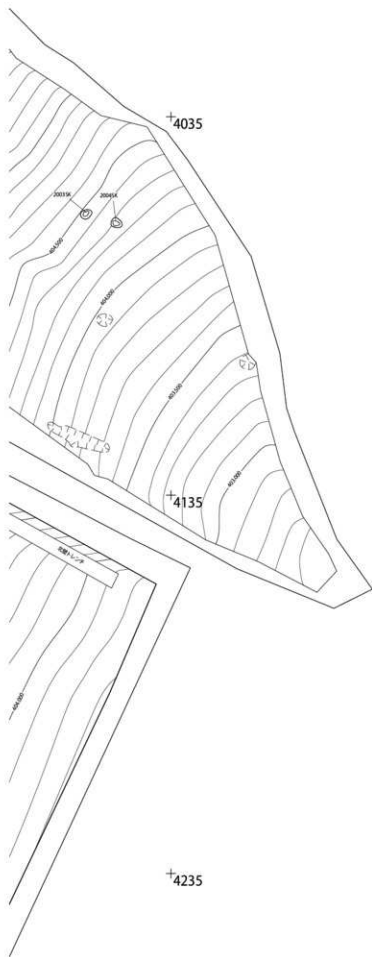
調査区平面図 11 (14区・19A区11)



調査区平面図 1 2 (14区・19A区12)

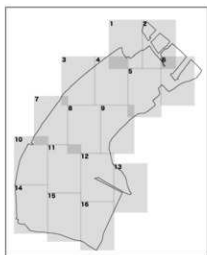


調査区平面図 13 (14区・19A区13)



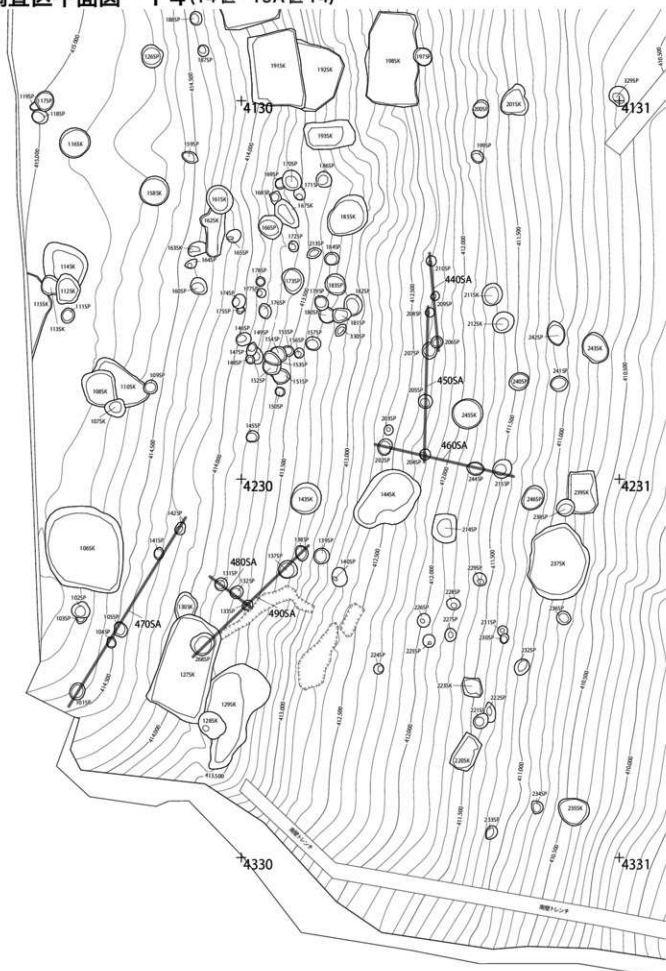
+4036

+4136

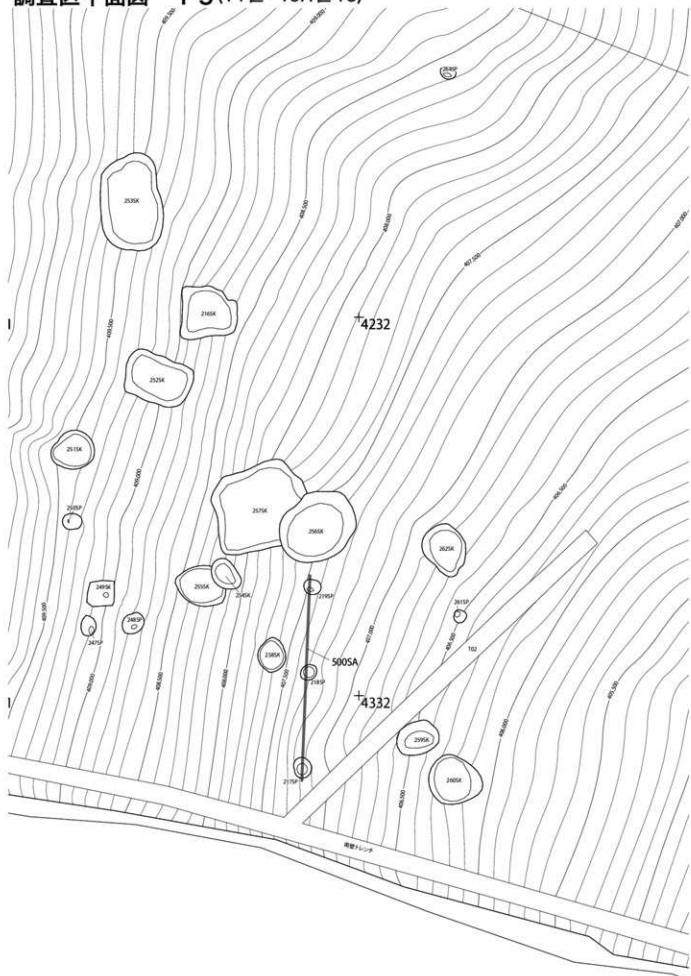


+4236

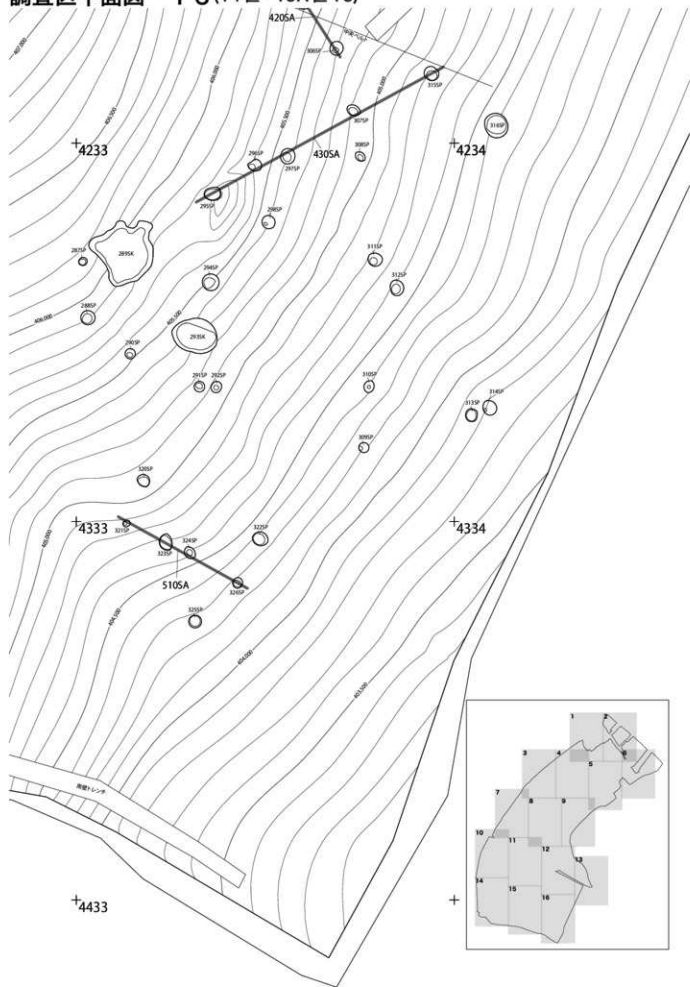
調査区平面図 14(14区・19A区14)



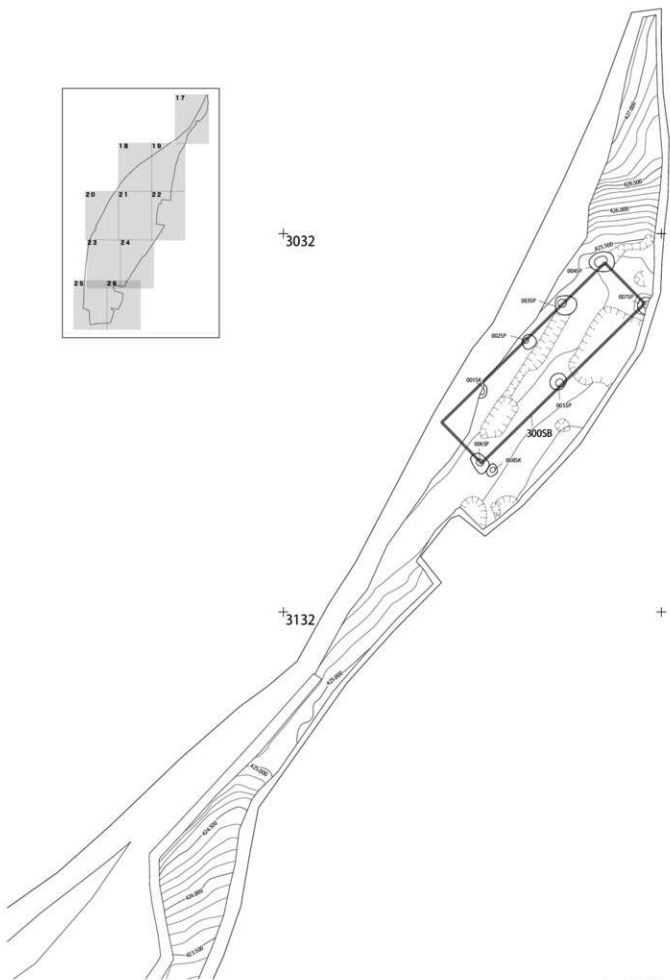
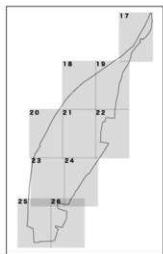
調査区平面図 15 (14区・19A区15)



調査区平面図 16 (14区・19A区16)



調査区平面図 17 (19B区1)



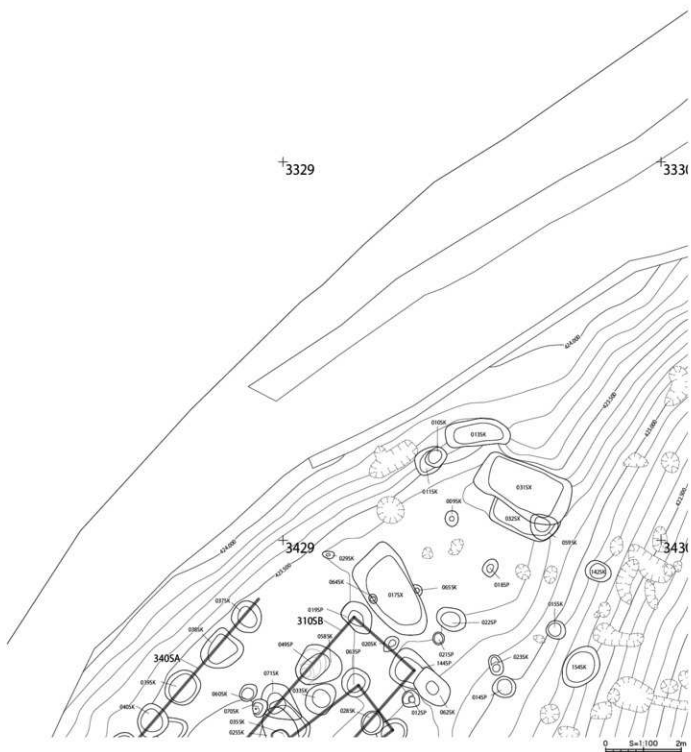
調査区平面図 18 (19B区2)

3229

3331

3329

3331



0 5=1:100 2m

調査区平面図 19 (19B区3)

230

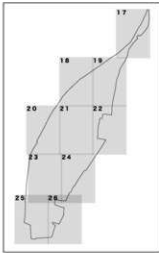
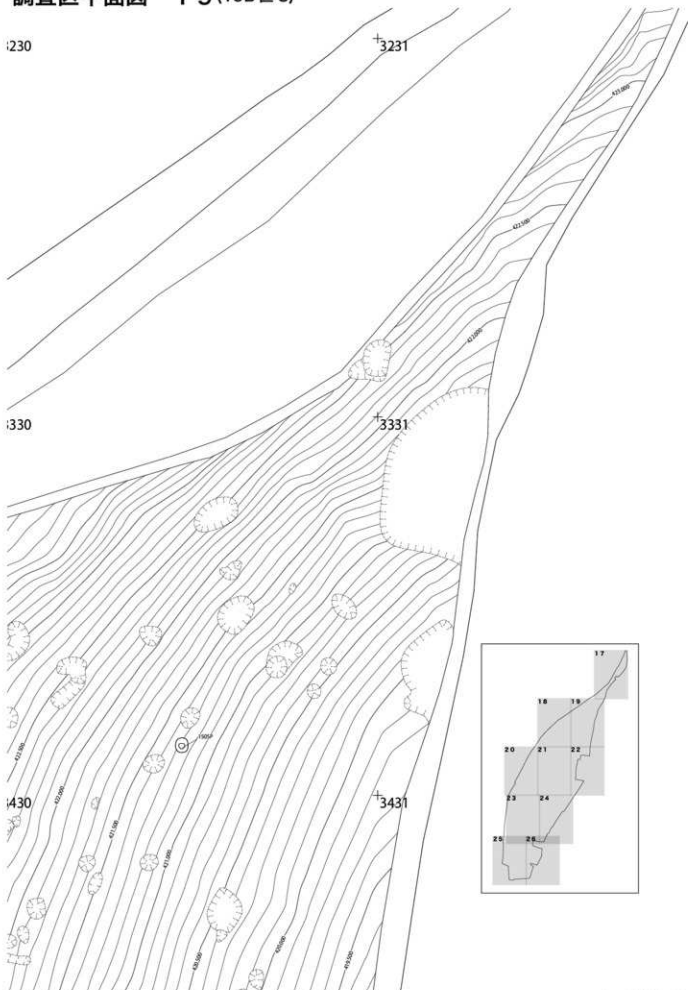
3231

330

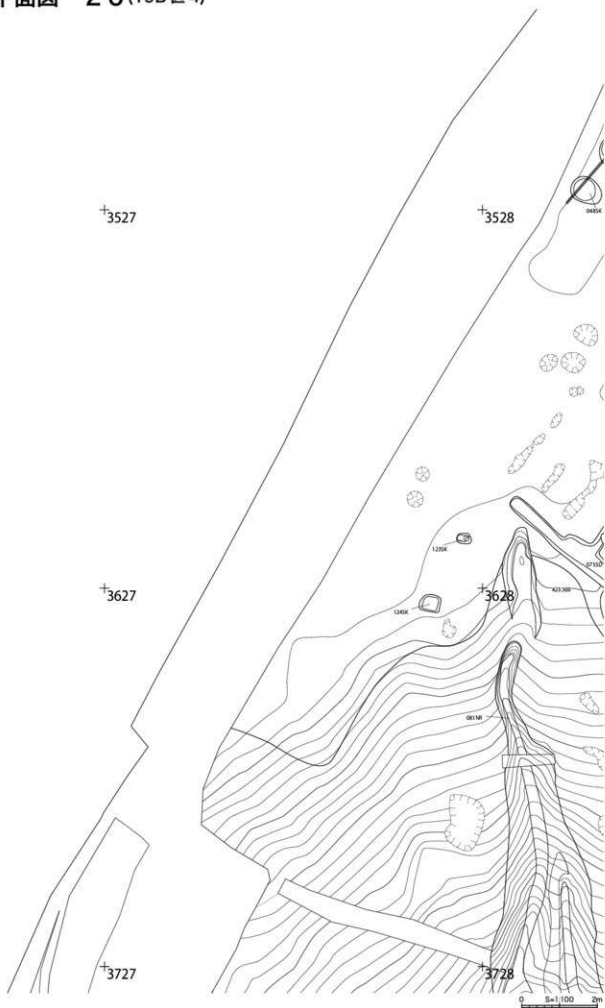
3331

430

3431



調査区平面図 20 (19B区4)



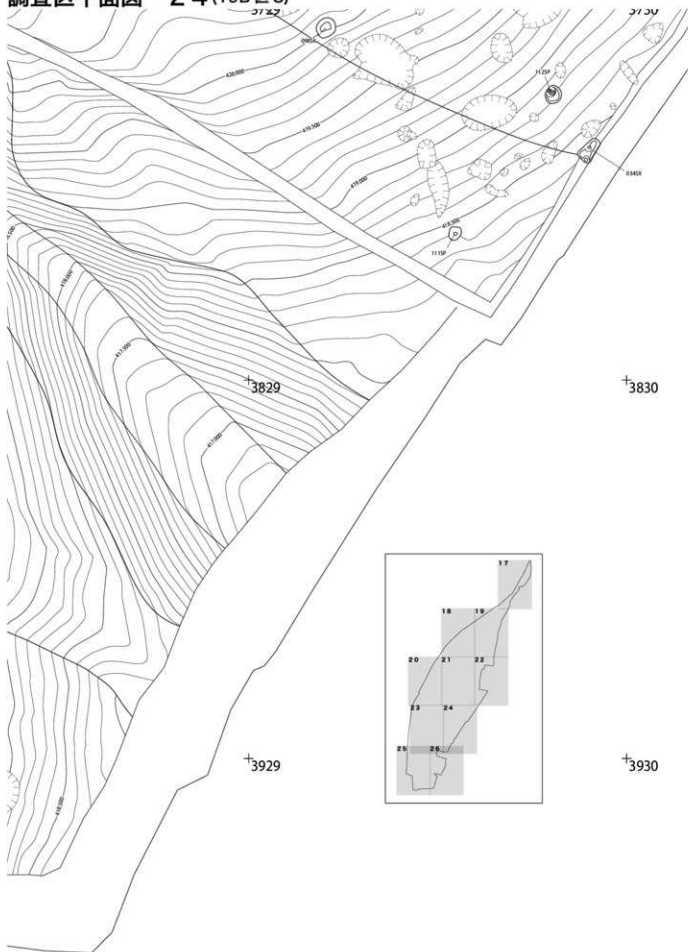
調査区平面図 23 (19B区7)

3121

3140



調査区平面図 24(19B区8)



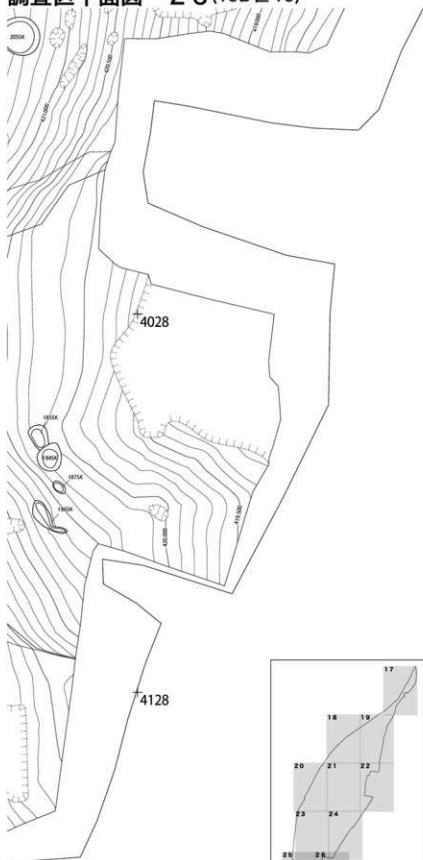
調査区平面図 25 (19B区9)

+4026

+4126



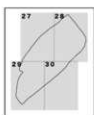
調査区平面図 26 (19B区10)



調査区平面図 27 (19C区1)

3132

3133

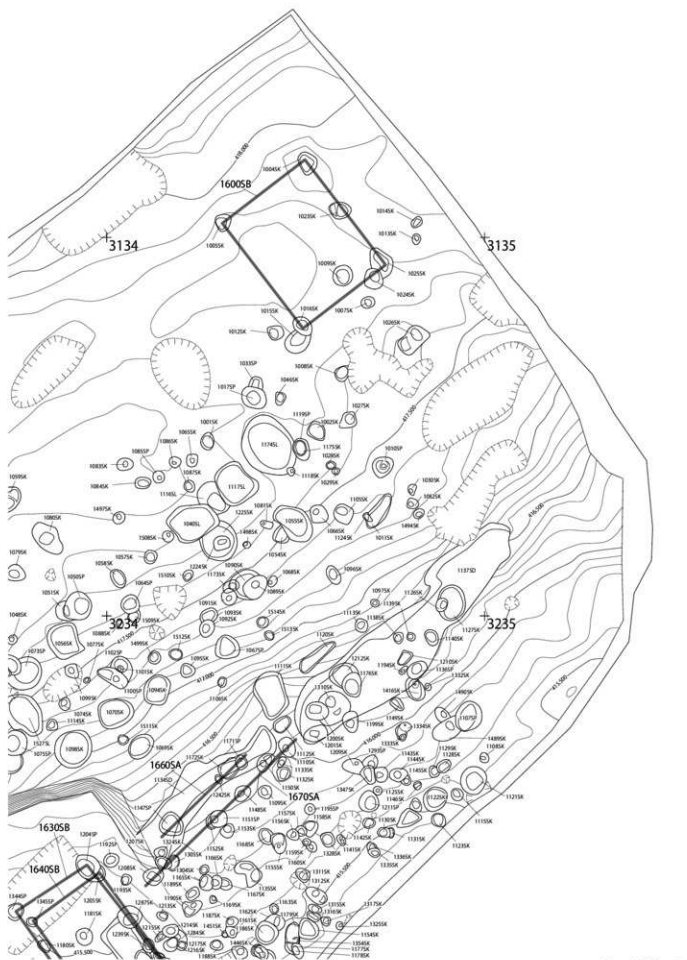


3232

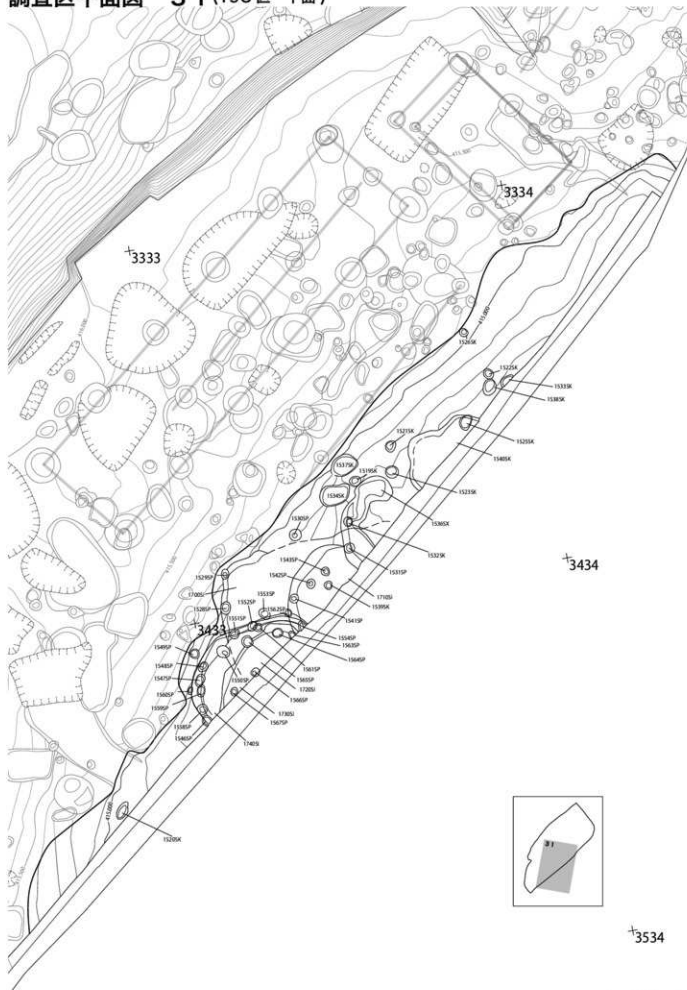
3233



調査区平面図 28(19C区2)



調査区平面図 31 (19C区 下面)



写真図版 1 遺跡・調査区全景 (1)



万瀬遺跡遠景 (手前左：万瀬遺跡、手前右：笹平遺跡
中央右寄り：上ヲロウ・下ヲロウ遺跡、右奥：石原遺跡)



14区全景 (上が南西)



19Ba区全景 (北東より)



19Bb区全景 (北より)



19C区全景 (南西より)

写真図版 2 遺跡・調査区全景 (2), 遺構 14区 (1)



19Aa 区全景 (上が南東)



19Ab 区全景 (上が北東)



14区 0015X-1 (南西より)



14区 0435I 完壁状況 (南より)
(写真下部……0135L)



14区 0135L 土層断面

写真図版 3 遺構 14区 (2)



14区 0525K 上層遺物出土状況



14区 0525K 下層集石検出土状況



14区 0525K 最下部 金床石 (か) 出土状況



14区 218SP 土層断面 (500SA 構成柱穴)



14区 327SE 土層断面



14区 328SE 土層断面



14区完掘状況 南西部 (北より)



14区中央ベルト土層断面 (南西より)

写真図版 4 遺構 19B 区 (1)



3005B 完掘状況 (北東より)



005SP 完掘状況 (南より)
(3005B 横成柱穴)



19B 区中央西部平坦面 (上が北西)
(175X・315X・325X・075SD、310～330SB・340SA、105SL 等完掘・掘削状況)



0175X 集石横出状況 (西より)



0315X 完掘状況 (南西より)

写真図版 5 遺構 19B区(2)



3105B・3305B 柱穴配置 (南西より)



0195P 土層断面 (3105B 構成柱穴)



0225P 土層断面



1475P 礎板石検出状況 (南より)



1055L 検出状況 (南西より)



1055L-1 土層断面



1055L-2 土層断面



1055L-4 礎検出状況 (北東より)

写真図版 6 遺構 19B 区 (3)



081NR 完照状況 (北西より)



081NR 土器 (0317) 出土状況



1995SL 東側落ち込み検出状況 (東より)



1995SL 土層断面



2125E 上段外面



2125E 上段土層断面



2125E 中段最上部



2125E 中・下段土層断面

写真図版 7 遺構 19C 区 (1)



1710SI 完掘 (西より)



1710SI 土層断面



1730SI 床面検出状況 (南より)



1740SI 完掘状況 (北西より)



1700~1740SI 完掘状況 (西より)



1527SL 土層断面



1527SL 残土層検出状況 (南東より)



1527SL 完掘状況 (南より)

写真図版 8 遺構 19C 区 (2)



23B 区東半部 (南から)



1018SK 石製品 (1301) 出土状況



12045P (16305B 横成柱穴)・12055SK (16405B 横成柱穴)
土層断面



1040SL・1116SL・1117SL 土層断面
(左奥……1174SL)



1174SL 被熱礫検出土況

写真図版 9 遺構 19C区(3)



1650SB・1680SA・1690SA 完掘状況(南より)



1257SP (1650SB 構成柱穴) 土層断面



1303SP (1650SB 構成柱穴) 底面柱痕跡(南西より)



1147SP (1660SA 構成柱穴) 土層断面



1448SP (1680SA 構成柱穴) 土層断面



2500SX 全景 (東より)



2500SX 土器 (0398) 出土状況



2500SX 石器 (1105) 出土状況



2429SK 土器 (0408) 出土状況 1面 (南東より)



2429SK 土器 (0408) 出土状況 3面 (東より)

写真図版 11 遺構 19A区(2)



2116SL 焼土面検出状況(北より)



2116SL 土層断面



2127SL 土層断面



2127SL 完掘状況(南東より)



2445SL III段階 礎検出状況(南より)



2445SL 完掘状況(南東より)



2460SI・2447～2449SL 検出状況(東より)



2460SI・2447～2449SL 礎検出状況(東より)

写真図版 12 遺構 19A区 (3)



2447SL 礫検出状況 (南東より)



2448SL 土層断面



2460SI・2447～2449SL 完掘状況 (東より)



19Aa 区南西部 (北より)
(2600SA・2610SA 完掘状況)



2052SP (2600SA 構成柱穴) 土層断面



2224Z 銭貨・煙管出土状況 (南西より)

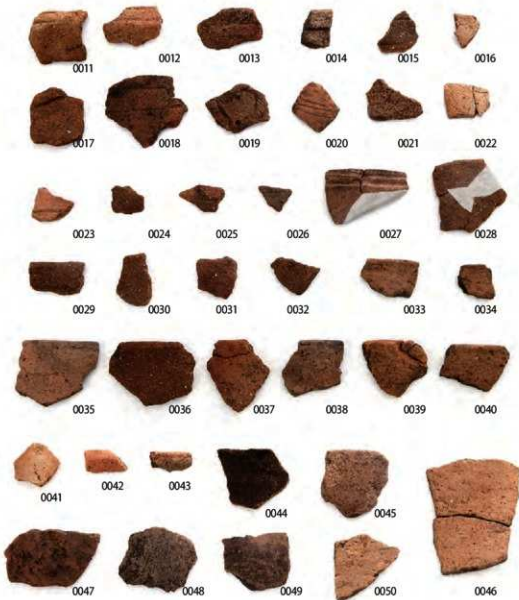


2326SZ 土層断面・煙管出土状況



2464SZ 銭貨出土状況 (南東より)

写真図版 13 土器 (1) 14区 001SX(1)



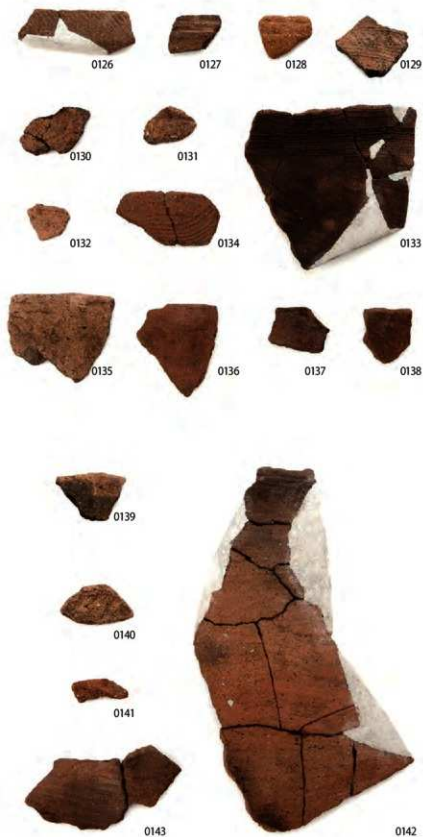
写真図版 14 土器(2) 14区001SX(2)



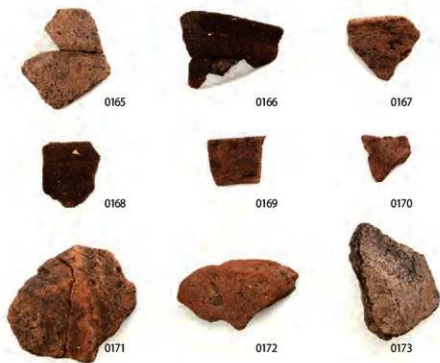
写真図版 15 土器(3) 14区 002SX~052SK



写真図版 16 土器(4) 14区2層(1)



写真図版 17 土器(5) 14区2層(2)



写真図版 18 土器(6) 14区3層(1)



0174



0175



0176



0177



0178



0179



0180



0181



0182



0183



0184



0185



0186



0187



0188



0189



0190



0191



0192



0193



0194



0195



0196



0197



0198



0199



0200



0201



0202



0203



0204



0205



0206



0207



0208



0209

写真図版 19 土器(7) 14区3層(2)



写真図版 20 土器(8) 14区3層(3), 4層, トレンチ・ベルトなど(1)



0270



0271



0272



0273



0274



0275



0276



0277



0278



0279



0280



0281



0282



0283



0284



0285



0286



0287



0288



0289



0290



0291



0292

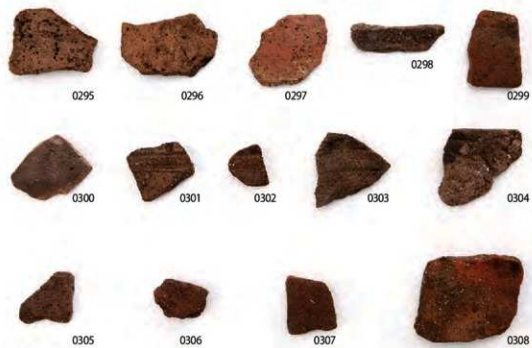


0293



0294

写真図版 21 土器(9) 14区トレンチ・ベルトなど(2),
19B区 081NR(1)





0317



写真図版 23 土器 (11) 19B区081NR(3), 085SK, 093SK,
19C区1211SK~1242SK



写真図版 24 土器 (12) 19A区 2067SK ~ 2445SL





0408

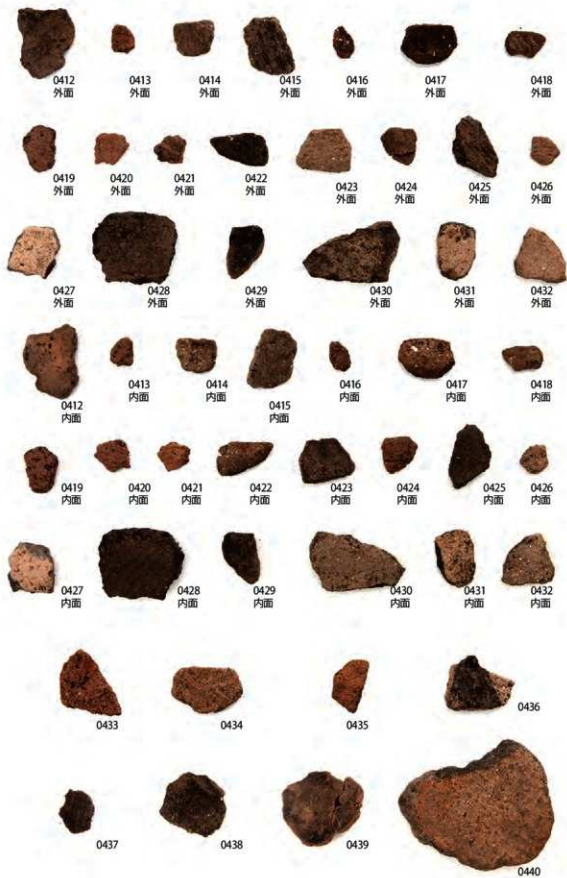


0408
外面拡大



0408
内面拡大

写真図版 26 土器(14) 19A区 2500SX, 19A区検出など



写真図版 27 石器(1) 14区



1001



1002



1003



1004



1005



1006



1007



1008



1009



1010



1011



1012



1013



1014



1015



1016



1017



1018



1019



1020



1021



1022



1023



1024



1025



1026



1027



1028



1029

写真図版 29 石器(3) 19C区





1046



1049



1050



1058



1059



1048



1047



1052



1055



1051



1053



1054



1056



1057



1060



1061



1062



1063



1064

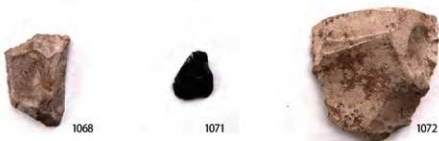


1065



1066

写真図版 31 石器 (5) 19Ab区 2411SK~2449SL



写真図版 32 石器(6) 19Ab区 2465SD~2470SK, 2500SX(1)



1079



1080



1081



1082



1083



1084



1085



1086



1087



1088



1089



1090



1091



1092

写真図版 33 石器 (7) 19Ab区 2500SX(2)



写真図版 34 石器 (8) 19Ab区 2500SX(3)



写真図版 35 石器 (9) 19Ab区 2500SX(4)





1178



1179



1180



1181



1182



1183



1184



1185

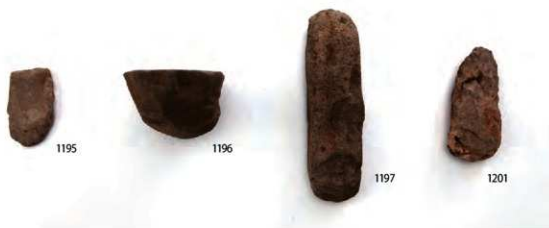


1186



1187

写真図版 37 石器 (11) 19Ab区 2500SX(6), 検出・表採など





1301



1302



1501



1502



1503



1504



1505



1506



1507



1508



1509



1510

写真図版 39 古代以降(1) 14区 043SI~101SP,
19B区 024SK~155SP



写真図版 40 古代以降 (2) 19B区 105SL~081NR



写真図版 41 古代以降 (3) 19B区 017SX, 031SX, 081NR
19C区 1263SP ~ 1360SK



2036
内面



2037
外面



2040
下面



2042
外面



2043



2045



2046



2044



2047



2048



2049



2050



2051



2053



2052



2055



2054



2057



2061



2056



2058



2059



2060



2056
外面



2061
内面

写真図版 42 古代以降(4) 19C区 1378SK~1252SD,
19A区 2039SP~2273SS,
14区・19B区トレンチ等



2062



2063



2064



2065



2066



2067



2068



2069



2070



2071



2072



2073



2074



2075



2056
外面



2069
内面



2075
外面



2076



2078



2079



2080



2081



2082



2083



2084



2085



2086

写真図版 43 古代以降(5) 14区2層・3層

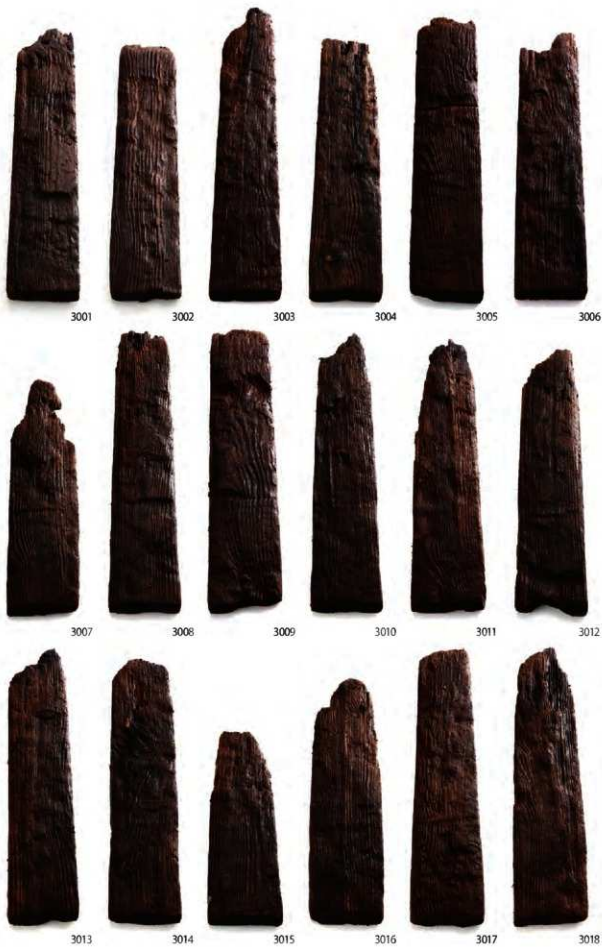


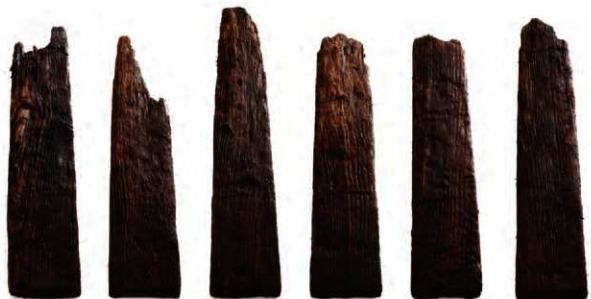
写真図版 44 古代以降(6) 表土・遺構検出面(1)



写真図版 45 古代以降 (7) 表土・遺構検出面 (2), トレンチ







3019

3020

3021

3022

3023

3024



3025



3026



3027



3028



3029



3030



3031



3032

ふりがな	まんぜ							
書名	万瀬遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第222集							
編著者名	河崎優輝、川添和晴、鬼頭 剛・古澤 明・バレオ・ラゴAMS年代測定グループ、小林克也(バレオ・ラゴ)、 鈴木正貴、バレオ・ラゴAMS年代測定グループ、徳 第四紀 地質研究所							
編集機関	公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター							
所在地	〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町字野方802-24 TEL0567(67)4161							
発行年	西暦2024年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
まんぜいせき 万瀬遺跡	あいちけんほくせつたふくふくしんりょう 愛知県北設楽郡設楽町 かむろきまがまんぜ 川向字マンゼ	23561	700165	35度 06分 43秒	137度 33分 54秒	2014.6.～ 2014.10. 2019.6.～ 2020.1.	10,250㎡	設楽ダム
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
万瀬遺跡	集落 集落・墓地	縄文時代 中～近世	竪穴建物跡・煙道付炉穴・ 集石貯 掘立柱建物跡・柱穴列・ 鍛冶遺構・土葬土坑墓	土器・石器 陶磁器・土師器・銅銭・煙管		草創期の尖頭器 早期前半の竪穴建物群 大型掘立柱建物		
文書番号	発掘届出	(26埋セ第28-1号・平成26年5月2日 / 31埋セ第5号・平成31年4月10日)						
	通知	(26教生第566号・平成26年5月2日 / 31教生第277号・平成31年4月19日)						
	終了届・保管証・発見届	(26埋セ第88号・平成26年11月4日 / 31埋セ第117号・令和2年1月24日)						
	監査結果通知	(26教生第2082号・平成26年11月20日 / 31教生第3671号・令和2年2月18日)						
要約	<p>万瀬遺跡の発掘調査成果は大きく二時期に分かれ、縄文時代では草創期に遡る石器の出土をみたほか、早期前半の竪穴建物跡を複数確認した。一方、中近世では中世の鍛冶場と思われる遺構を確認したほか、中世から近世に及ぶ、倉と思われる大型の掘立柱建物なども含まれる居住域が確認された。居住域から離れた位置では複数の土葬土坑墓も発見され、当時の土地利用についての知見も得られる結果となった。</p>							

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第222集

万瀬遺跡

2024年3月31日

発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

印刷 西濃印刷株式会社

